

防災公共推進計画書

～六ヶ所村～

令和7年度

青 森 県

防災公共推進計画の更新ポイント

今回の防災公共推進計画の更新ポイントを、下記の4項目（津波浸水想定区域に該当しない市町村は3項目）に重点を置き、各市町村の防災公共推進計画について再検討ならびに更新を行ったものである。

①地震・津波災害

将来起こりうる最大クラスの地震・津波（太平洋側海溝型地震、日本海側海溝型地震、内陸直下型地震）を想定した新たな津波浸水想定区域を基に、従前の津波浸水想定区域から区域が拡大した地区に対して、対象市町村から現状を確認し、避難場所、避難目標地点、避難限界範囲、避難経路等の再検討に重点を置き、更新を行った。

②風水害

国・県管理河川のうち、洪水予報河川及び水位周知河川における従前の洪水浸水想定区域から区域が拡大した地区に対して、対象市町村から現状を確認し、避難場所、避難経路等の再検討に重点を置き、更新を行った。

③危険箇所

県で指定している危険箇所（河川砂防危険箇所、林政危険地区、道路防災点検、橋梁危険箇所）は道路を保全対象としている危険箇所が多く、かつ各地に点在していることから、避難経路を確保する観点で現時点の危険箇所及び市町村の施策の整備状況を確認し、孤立の恐れのある集落の解消に重点を置き、更新を行った。

④市町村へのヒアリング

令和3年及び令和4年に本県で発生した大雨災害や令和6年1月に発生した能登半島地震等、近年発生した災害を踏まえ、各市町村における災害時の実体験や被災当時の課題等をヒアリングし、その内容を基に避難場所、避難目標地点、避難限界範囲、避難経路等の再検討に重点を置き、更新を行った。

※津波浸水想定区域に該当する市町村は①～④すべてが該当となり、それ以外の市町村は②、③、④が該当する。



図-1 青森県沿岸区分図

表-1 津波の水位・影響開始時間等一覧表

市町村	海岸線の最大津波高(m)	代表地点					市町村庁舎等の浸水深	
		影響開始時間	第一波到達時間	最大波		代表地点数		
				到達時間	津波水位			
階上町	21.5	12分	32分	44分	17.7	4		
八戸市	26.1	6分	32分	183分	21.0	12		
おいらせ町	24.0	13分	35分	51分	21.1	5		
三沢市	17.1	11分	28分	50分	14.7	11		
六ヶ所村	12.7	3分	20分	23分	8.7	8	村役場：0.5m	
東通村	15.7	3分	19分	33分	10.8	9		
風間浦村	11.5	2分	32分	34分	8.5	7	村役場：7.0m	
大間町	10.7	5分	17分	37分	9.0	4		
佐井村	6.5	5分	10分	204分	4.6	7		
むつ市	陸奥湾	5.4	2分	9分	159分	3.9	20	
	津軽海峡	13.4	4分	31分	37分	10.6	6	
横浜町	5.1	4分	140分	141分	3.6	3		
野辺地町	4.5	10分	41分	161分	3.5	5		
平内町	4.8	3分	10分	107分	4.0	13		
青森市	5.4	0分	2分	97分	4.8	12	県庁：1.9m 市役所：1.4m	
蓬田村	4.4	0分	1分	101分	3.7	5	村役場：2.7m	
外ヶ浜町	陸奥湾	4.9	0分	0分	196分	3.5	7	
	津軽海峡	9.7	2分	20分	211分	5.5	13	
今別町	6.6	2分	29分	213分	5.6	7		
中泊町	22.6	3分	18分	22分	10.4	5		
五所川原市	10.8	10分	18分	19分	7.4	3		
つがる市	11.4	16分	18分	24分	8.9	2		
鱒ヶ沢町	12.1	12分	15分	21分	10.5	5		
深浦町	21.7	3分	6分	11分	12.5	20	町役場：5.9m	

防災公共推進計画 上北県土整備事務所管内【六ヶ所村】 更新内容概要版

1.更新目的

従前の防災公共推進計画に対して、各市町村との協議及び最新の危険箇所情報により現状確認した結果を基に、防災公共推進計画を更新し、地区内における危険箇所等を共有するものである。

2.確認項目

整理番号	確認項目	更新要否	備考
1	地形図	○	
2	危険箇所	○	
3	津波浸水想定区域	○	
4	洪水浸水想定区域	○	国管理河川、県管理洪水予報河川、水位周知河川
5	孤立集落	—	孤立する恐れのある集落
6	防災拠点	—	災害時に防災活動の拠点となる施設
7	ヘリ離着陸可能場所	○	孤立した際の物資の輸送手段
8	避難場所	○	R4国土地理院 指定緊急避難場所、防災マップ避難所リスト
9	避難目標地点	○	津波浸水想定区域外の避難の目標とする地点
10	避難限界範囲	○	津波影響開始時間を基に計算して出した避難可能範囲
11	避難経路	○	人家→避難目標地点→避難場所→防災拠点

3.更新内容

整理番号	更新内容	更新前	更新後
1	地形図	青森県防災地形図2,500	国土地理院 電子地形図
2	危険箇所	H23河川砂防、林政、道路、橋梁危険箇所	R4河川砂防、林政、道路、橋梁危険箇所
3	津波浸水想定区域	青森県 平成25年1月公表	青森県 令和3年5月公表
4	洪水浸水想定区域	青森県 平成25年公表	青森県 平成31年1月公表
7	ヘリ離着陸可能場所	H25ワーキングにて設定	R5市町村協議を基に再設定
8	避難場所	地域防災計画 指定避難場所	国土地理院 指定緊急避難場所
9	避難目標地点	H25ワーキングにて設定	R5市町村協議を基に再設定
10	避難限界範囲	H25ワーキングにて設定	R5市町村協議を基に設定なし
11	避難経路	H25ワーキングにて設定	R5市町村協議を基に再設定

4.津波設定条件・施策の取組状況・追加検討地区等

項目	検討結果
津波設定条件	避難限界範囲の設定なし(津波避難計画による)
施策の取組状況	県の危険箇所4箇所事業完了、2箇所事業中、村の施策1箇所事業完了
追加検討地区	⑩むつ小川原港尾駁浜漁船だまり(尾駁漁港),⑩内沼,⑩中志の3地区
新たな取組	津波避難計画の見直し
その他	津波避難タワー設置計画検討中

5.更新後の孤立する恐れのある集落数(地区数)

更新前孤立集落数		更新後孤立集落数		孤立解消集落数		孤立解消集落名(地区名)		備考
地震時	大雨時	地震時	大雨時	地震時	大雨時	地震時	大雨時	
2地区	2地区	2地区	2地区	0地区	0地区	なし	なし	検討地区 全19地区

6.今後の取組について

項目	内容
防災公共推進計画	おおむね5年毎の防災公共推進計画更新
土砂災害警戒区域	新規抽出箇所による避難場所・避難目標地点・避難経路の再検討
洪水浸水想定区域	その他河川の洪水浸水想定区域による避難場所・避難目標地点・避難経路の再検討
短期・中期的施策	施策の取組状況確認及び施策の再設定

防災公共推進計画 上北県土整備事務所管内【六ヶ所村】 検討結果概要版 1/2

1.概要

六ヶ所村は、国道338号沿線の海岸部と内陸部の各地区によって構成されている。役場から、上北地域の防災拠点の多くが集積する十和田市や三沢市とのアクセスも、主に国道338号を使用することになるが、役場以南の経路上には危険箇所はほとんどなく、災害時にアクセス不能となる恐れはない。

しかし、北部の泊地区及び内陸の室ノ久保・戸鎖地区については、土砂災害の危険箇所が集中しており、災害時に道路が分断されて、集落や一部の避難場所が孤立する恐れがある。

また、津波浸水想定図を見ると、沿岸部のほぼ全域において、津波による浸水が想定されている。さらに、洪水浸水想定区域図では、高瀬川、小川原湖周辺が、浸水区域となっている。

平成25年度に県民局及び市町村ワーキングを実施し防災公共推進計画を策定したところだが、今回の更新では、六ヶ所村における孤立する恐れのある集落や避難場所が存在する地区、洪水や津波により浸水が想定される地区の全20地区において検討を実施した。

2.避難前提条件の検討

2-1.津波影響開始時間(津波伝搬時間)・第一波到達時間・最大波到達時間

市町村	地域海岸	代表地点	地区名	前回津波時間		見直し後津波時間			
				津波影響開始時間 ±20cm	津波伝搬時間 +20cm	津波影響開始時間		第一波 到達時間	最大波 到達時間
						+20cm	-20cm		
六ヶ所村	東通	泊山	①泊北部	8分	15分	3分	3分	20分	20分
六ヶ所村	東通	焼山	②泊1,③泊2	15分	15分	3分	3分	21分	21分
六ヶ所村	東通	泊	④泊3	15分	15分	3分	3分	21分	21分
六ヶ所村	東通	石川	⑤泊4,⑥石川	8分	15分	6分	6分	21分	21分
六ヶ所村	東通	出戸	⑦出戸	8分	16分	6分	6分	23分	23分
六ヶ所村	東通	尾駮	⑧尾駮1,⑨尾駮2,⑩むつ小川原港尾駮浜漁船だまり	11分	17分	7分	7分	24分	24分
六ヶ所村	東通	鷹架	⑪むつ小川原港,⑫鷹架,⑬室ノ久保,⑭戸鎖	10分	18分	8分	8分	24分	24分
六ヶ所村	東通	平沼	⑮平沼1,⑯平沼2,⑰倉内	11分	20分	10分	10分	26分	26分
三沢市	上北	天ヶ森	⑱内沼,⑲中志	14分	21分	11分	11分	28分	124分

2-2.避難可能範囲(津波影響開始時間・第一波到達時間) ※避難限界範囲の設定なし

代表地点	地区名	津波影響開始時間 第一波到達時間	避難開始 時間	避難可能 時間	秒換算	歩行速度	避難可能距離 ※上限500m	/補正率	避難可能 範囲
泊山	①泊北部	3分	2分	1分	60秒	1.0m/秒	60m	1.5	0m
		20分	2分	18分	1080秒	1.0m/秒	500m	1.5	300m
焼山	②泊1,③泊2	3分	2分	1分	60秒	1.0m/秒	60m	1.5	0m
		21分	2分	19分	1140秒	1.0m/秒	500m	1.5	300m
泊	④泊3	3分	2分	1分	60秒	1.0m/秒	60m	1.5	0m
		21分	2分	19分	1140秒	1.0m/秒	500m	1.5	300m
石川	⑤泊4,⑥石川	6分	2分	4分	240秒	1.0m/秒	240m	1.5	150m
		21分	2分	19分	1140秒	1.0m/秒	500m	1.5	300m
出戸	⑦出戸	6分	2分	4分	240秒	1.0m/秒	240m	1.5	150m
		23分	2分	21分	1260秒	1.0m/秒	500m	1.5	300m
尾駮	⑧尾駮1,⑨尾駮2,⑩むつ小川原港尾駮浜漁船だまり(尾駮漁港)	7分	2分	5分	300秒	1.0m/秒	300m	1.5	200m
		24分	2分	22分	1320秒	1.0m/秒	500m	1.5	300m
鷹架	⑪むつ小川原港,⑫鷹架,⑬室ノ久保,⑭戸鎖	8分	2分	6分	360秒	1.0m/秒	500m	1.5	300m
		24分	2分	22分	1320秒	1.0m/秒	500m	1.5	300m
平沼	⑮平沼1,⑯平沼2,⑰倉内	10分	2分	8分	480秒	1.0m/秒	480m	1.5	300m
		26分	2分	24分	1440秒	1.0m/秒	500m	1.5	300m
天ヶ森	⑱内沼,⑲中志	11分	2分	9分	540秒	1.0m/秒	500m	1.5	300m
		28分	2分	26分	1560秒	1.0m/秒	500m	1.5	300m

※洪水の避難前提条件については、六ヶ所村防災マップによるものとする。

3.施策の取組状況

3-1.避難場所確保の取組

地区名	事業種別	箇所番号	実施主体	事業名(事業箇所)	施策実施状況
-	-	-	-	-	-

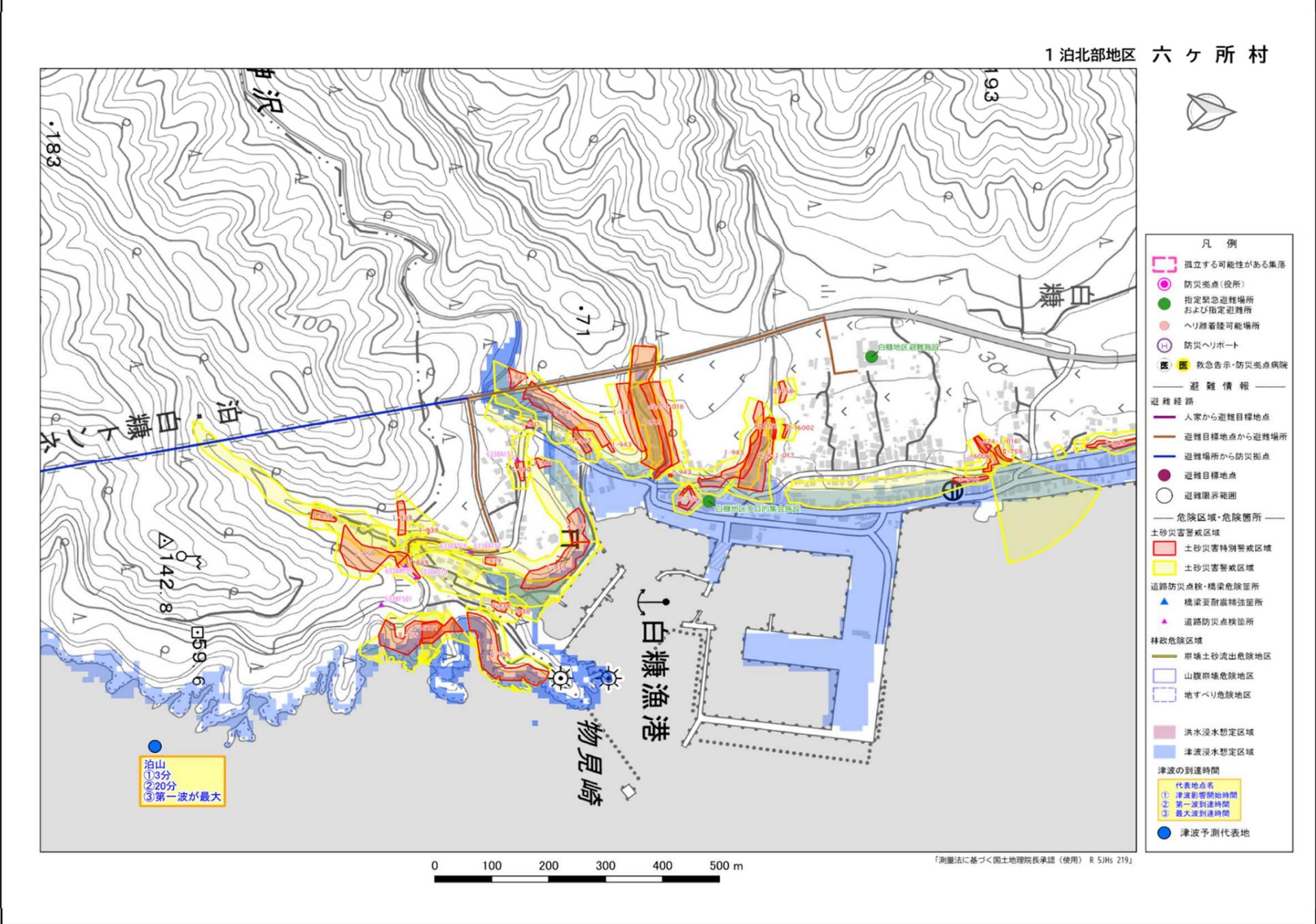
3-2.避難経路確保の取組

地区名	事業種別	箇所番号	実施主体	事業名(事業箇所)	施策実施状況
①泊北部	土石流	411-I-8	県	押付沢	【事業完了】
②泊1	急傾斜地	I-861	県	焼山4号	【未実施】
	土石流	411-I-4-1	県	下六ヶ所沢	【未実施】
⑥石川	土石流	411-I-4-2	県	下六ヶ所沢	【未実施】
	土石流	411-I-1	県	石川	【未実施】
⑨尾駮2	急傾斜地	I-871	県	尾駮	【事業完了】
⑬平沼1	急傾斜地	II-699	県	追館	【未実施】
⑯室ノ久保	急傾斜地	I-872	県	前田	【未実施】
	急傾斜地	II-696	県	川向1号	【未実施】
	急傾斜地	I-875	県	向田3号	【未実施】
	急傾斜地	III-386	県	向田4号	【未実施】

※3.施策の取組状況 3-3.輸送手段確保の取組は次項へつづく。

防災公共推進計画 上北県土整備事務所管内【六ヶ所村】 ①泊北部地区（津波浸水想定区域）検討結果

1.地区の検討図面



【地区の検討結果】 ※検討地区内には洪水浸水想定区域はない。

地区名	比較検討	①避難目標地点	②避難限界範囲	③避難場所	④避難経路	⑤物資の輸送手段	⑥孤立解消の方策	⑦孤立の判定
①泊北部地区 (津波浸水)	検討前	・避難目標地点の設定なし。 (浸水区域拡大のため再検討が必要)	・避難限界範囲の設定なし。 (津波影響開始時間が変わるため再検討が必要)	・避難場所は1箇所指定されており、安全。	・避難所までの経路上に阻害する恐れのある危険箇所はある。			
	検討後	・第一波到達時間が20分ということもあり、避難目標地点の設定なし。	・避難限界範囲の設定なし。	・避難場所は東通村の白糠地区避難施設、隣接する地区の旧泊中学校グラウンド(危険箇所は対策済)を利用する。	・東通村の白糠地区避難施設、隣接する地区の旧泊中学校グラウンドへの避難経路上に阻害する恐れのある危険箇所はあるが現状では対策不要である。			

2.避難場所の確保

2-1.利用可能な避難場所(地区内)		
避難所・避難場所名	避難所種別	
-	-	
-	-	
-	-	
-	-	
-	-	
2-2.利用可能な避難場所(地区外)		
避難所・避難場所名	地区名	避難所種別
白糠地区避難施設	東通村	指定避難所
旧泊中学校グラウンド	泊地区1-4	指定緊急避難場所
-	-	-
-	-	-
-	-	-
2-3.利用不可な避難場所		
避難所・避難場所名	利用不可の理由	避難所種別
-	-	-
-	-	-
-	-	-
-	-	-
-	-	-

3.避難経路の確保

・東通村の白糠地区避難施設、隣接する地区の旧泊中学校グラウンドへの避難経路上に阻害する恐れのある危険箇所はあるが現状では対策不要である。

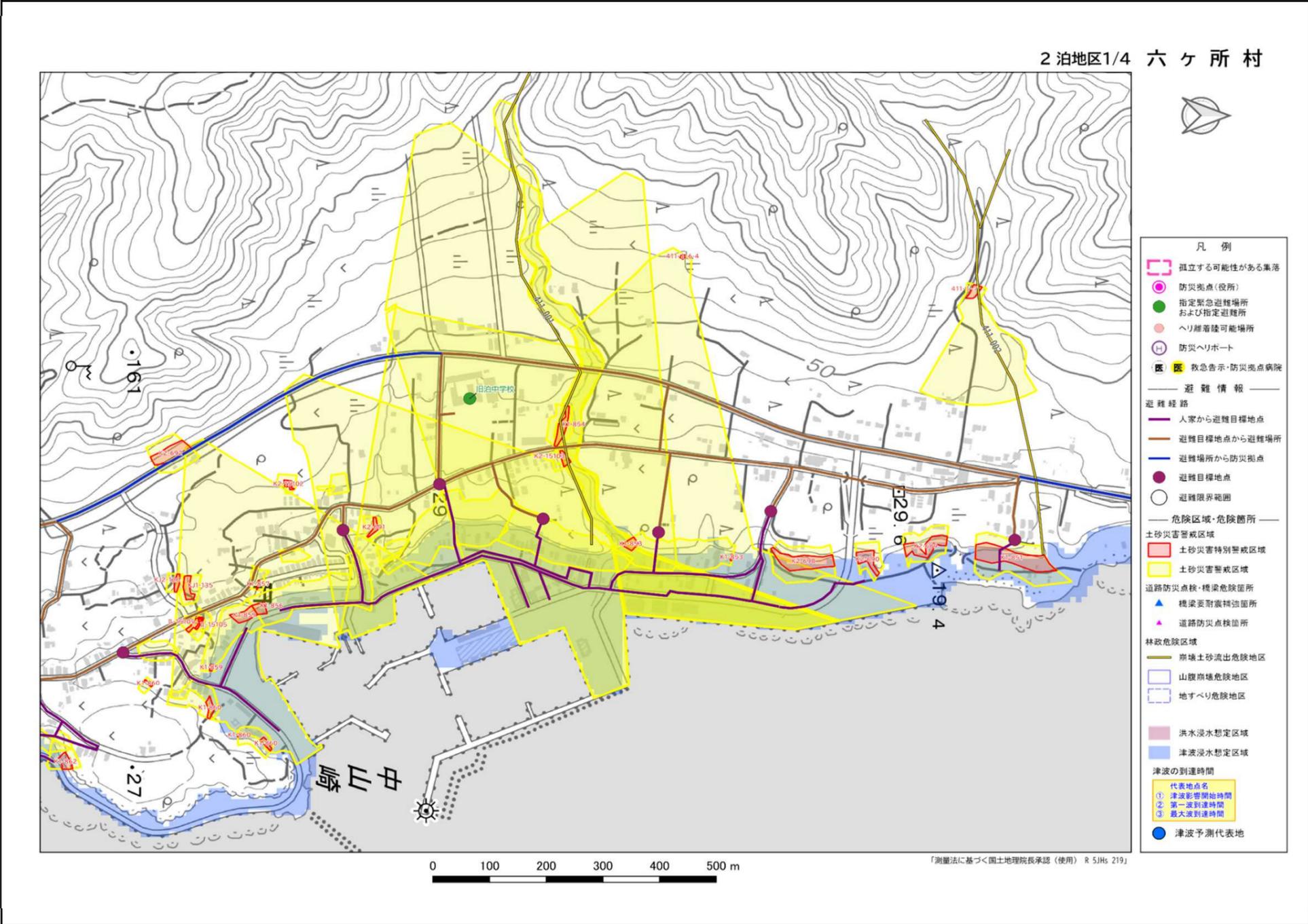
事業種別	箇所番号	実施主体	事業名(事業箇所)	施策実施状況
土石流	411-I-8	県	押付沢	【事業完了】

4.物資の輸送手段の確保

--

防災公共推進計画 上北県土整備事務所管内【六ヶ所村】 ②泊地区1/4（津波浸水想定区域） 検討結果

1.地区の検討図面



【地区の検討結果】 ※検討地区内には洪水浸水想定区域はない。

地区名	比較検討	①避難目標地点	②避難限界範囲	③避難場所	④避難経路	⑤物資の輸送手段	⑥孤立解消の方策	⑦孤立の判定
②泊地区1/4 (津波浸水)	検討前	・避難目標地点は7箇所。 (浸水区域拡大のため再検討が必要)	・避難限界範囲は300m。 (津波影響開始時間が変わるため再検討が必要)	・避難場所は1箇所指定されており、安全。	・避難所までの経路上に阻害する恐れのある危険箇所はある。	・当地区は孤立する恐れはないものの、地区内のヘリポート1箇所利用可能。	/	/
	検討後	・避難目標地点は7箇所。 ・4箇所の目標地点は危険区域内にあるが対策済みである。	・避難限界範囲の設定なし。	・避難場所は旧泊中学校グラウンド(危険箇所は対策済)、避難所は隣接する地区の泊小中学校(危険箇所は現状対策不要)を利用する。を利用する。	・旧泊中学校グラウンドへの避難経路上に阻害する恐れのある危険箇所はあるが対策済みである。 ・隣接する地区の泊小中学校への避難経路上に阻害する恐れのある危険箇所はあるが現状では対策不要である。	・孤立する恐れはないが、旧泊中学校グラウンド及び泊小中学校はヘリ離着陸可能である。		

2.避難場所の確保

2-1.利用可能な避難場所(地区内)		
避難所・避難場所名	避難所種別	
旧泊中学校グラウンド	指定緊急避難場所	
2-2.利用可能な避難場所(地区外)		
避難所・避難場所名	地区名	避難所種別
泊小中学校	泊地区2-4	指定避難所
2-3.利用不可な避難場所		
避難所・避難場所名	利用不可の理由	避難所種別
-	-	-

3.避難経路の確保

・旧泊中学校グラウンドへの避難経路上に阻害する恐れのある危険箇所はあるが対策済みである。
 ・隣接する地区の泊小中学校への避難経路上に阻害する恐れのある危険箇所はあるが現状では対策不要である。

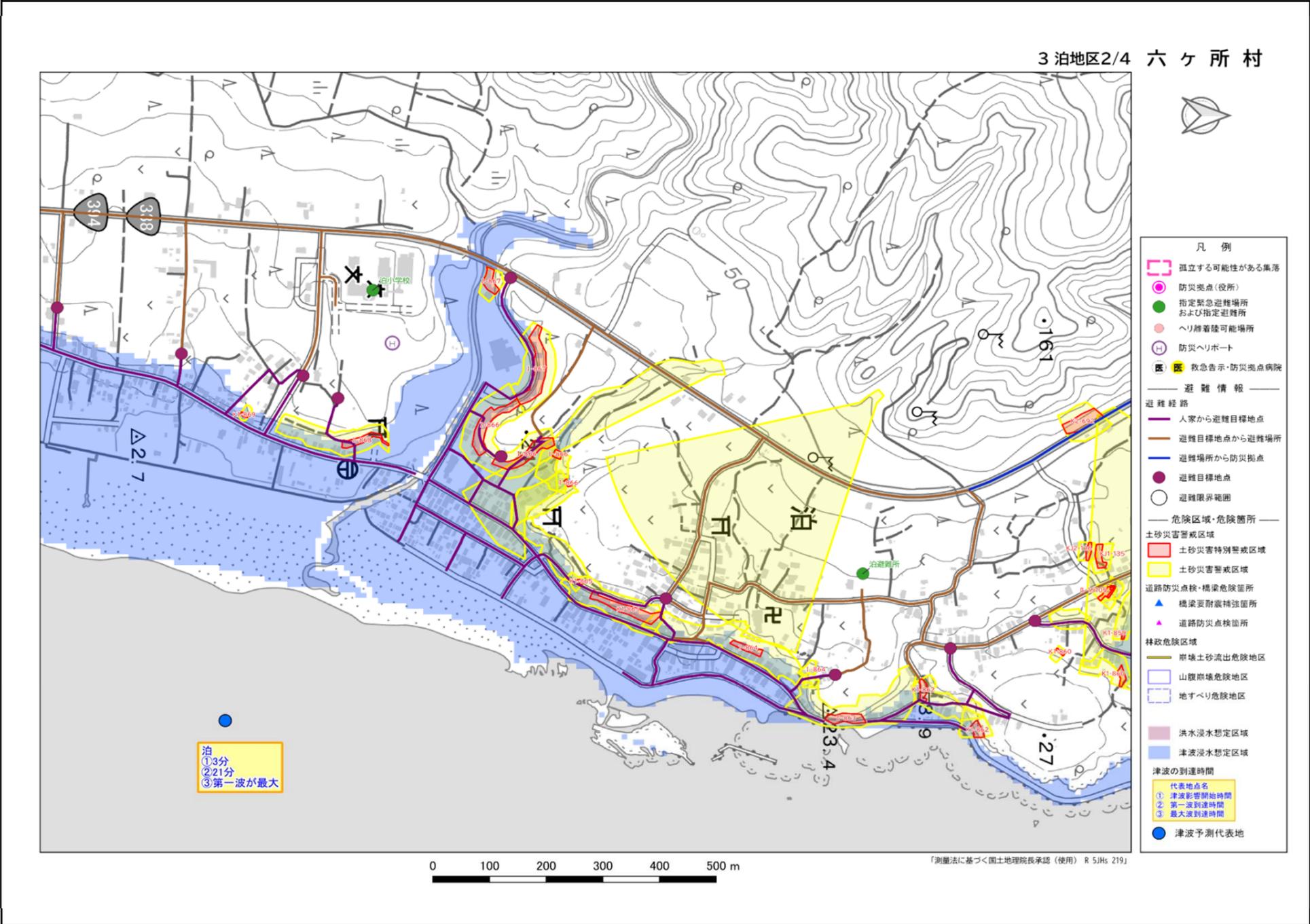
事業種別	箇所番号	実施主体	事業名(事業箇所)	施策実施状況
急傾斜地	I-861	県	焼山4号	【未実施】
急傾斜地	II-692	県	焼山9号	【未実施】
土石流	411-I-4-1	県	下六ヶ所沢	【未実施】
土石流	411-I-4-2	県	下六ヶ所沢	【未実施】

4.物資の輸送手段の確保

・孤立する恐れはないが、旧泊中学校グラウンド及び泊小中学校はヘリ離着陸可能である。

防災公共推進計画 上北県土整備事務所管内【六ヶ所村】 ③泊地区2/4（津波浸水想定区域） 検討結果

1.地区の検討図面



2.避難場所の確保

2-1.利用可能な避難場所（地区内）		
避難所・避難場所名	避難所種別	
泊小中学校	指定避難所	
泊避難所	指定緊急避難場所	
2-2.利用可能な避難場所（地区外）		
避難所・避難場所名	地区名	避難所種別
2-3.利用不可な避難場所		
避難所・避難場所名	利用不可の理由	避難所種別

3.避難経路の確保

・泊小中学校への避難経路上に阻害する恐れのある危険箇所はあるが現状では対策不要である。

事業種別	箇所番号	実施主体	事業名(事業箇所)	施策実施状況

【地区の検討結果】 ※検討地区内には洪水浸水想定区域はない。

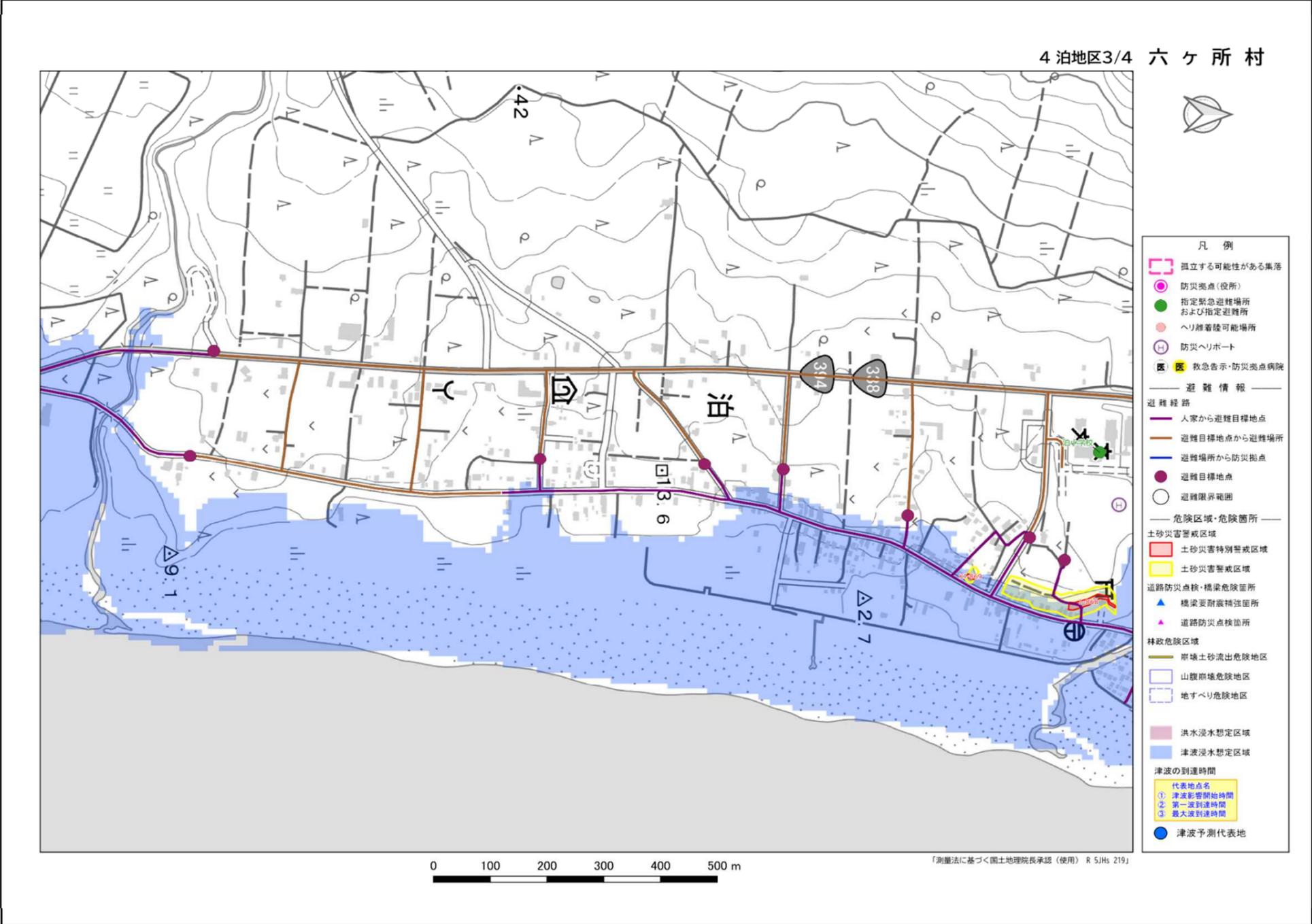
地区名	比較検討	①避難目標地点	②避難限界範囲	③避難場所	④避難経路	⑤物資の輸送手段	⑥孤立解消の方策	⑦孤立の判定
③泊地区2/4 (津波浸水)	検討前	・避難目標地点は7箇所。 (浸水区域拡大のため再検討が必要)	・避難限界範囲は300m。 (津波影響開始時間が変わるため再検討が必要)	・避難場所は1箇所指定されており、安全。	・避難所までの経路上に阻害する恐れのある危険箇所はある。	・地区内のヘリポート1箇所利用可能。		
	検討後	・避難目標地点は7箇所。 ・1箇所の目標地点は危険区域内にある。	・避難限界範囲の設定なし。	・避難場所は泊小中学校を利用する。(泊避難所は一時避難場所である)	・泊小中学校への避難経路上に阻害する恐れのある危険箇所はあるが現状では対策不要である。	・孤立する恐れはないが、泊小中学校グラウンドはヘリ離着陸可能である。		

4.物資の輸送手段の確保

・孤立する恐れはないが、泊小中学校グラウンドはヘリ離着陸可能である。

防災公共推進計画 上北県土整備事務所管内【六ヶ所村】④泊地区3/4（津波浸水想定区域）検討結果

1.地区の検討図面



【地区の検討結果】 ※検討地区内には洪水浸水想定区域はない。

地区名	比較検討	①避難目標地点	②避難限界範囲	③避難場所	④避難経路	⑤物資の輸送手段	⑥孤立解消の方策	⑦孤立の判定
④泊地区3/4 (津波浸水)	検討前	・避難目標地点は6箇所。 (浸水区域拡大のため再検討が必要)	・避難限界範囲は300m。 (津波影響開始時間が変わるため再検討が必要)	・避難場所は地区内には指定されていない。	・避難所までの経路上に阻害する恐れのある危険箇所はない。	・地区内にヘリポート利用可能なスペースはない。		
	検討後	・避難目標地点は6箇所。 ・危険区域外にあるため安全である。	・避難限界範囲の設定なし。	・避難場所は泊小中学校を利用する。	・泊小中学校への避難経路上に阻害する恐れのある危険箇所はない。	・孤立する恐れはないが、泊小中学校グラウンドはヘリ離着陸可能である。		

2.避難場所の確保

2-1.利用可能な避難場所（地区内）		
避難所・避難場所名	地区名	避難所種別
泊小中学校		指定避難所
2-2.利用可能な避難場所（地区外）		
避難所・避難場所名	地区名	避難所種別
-	-	-
2-3.利用不可な避難場所		
避難所・避難場所名	利用不可の理由	避難所種別
-	-	-

3.避難経路の確保

・泊小中学校への避難経路上に阻害する恐れのある危険箇所はない。

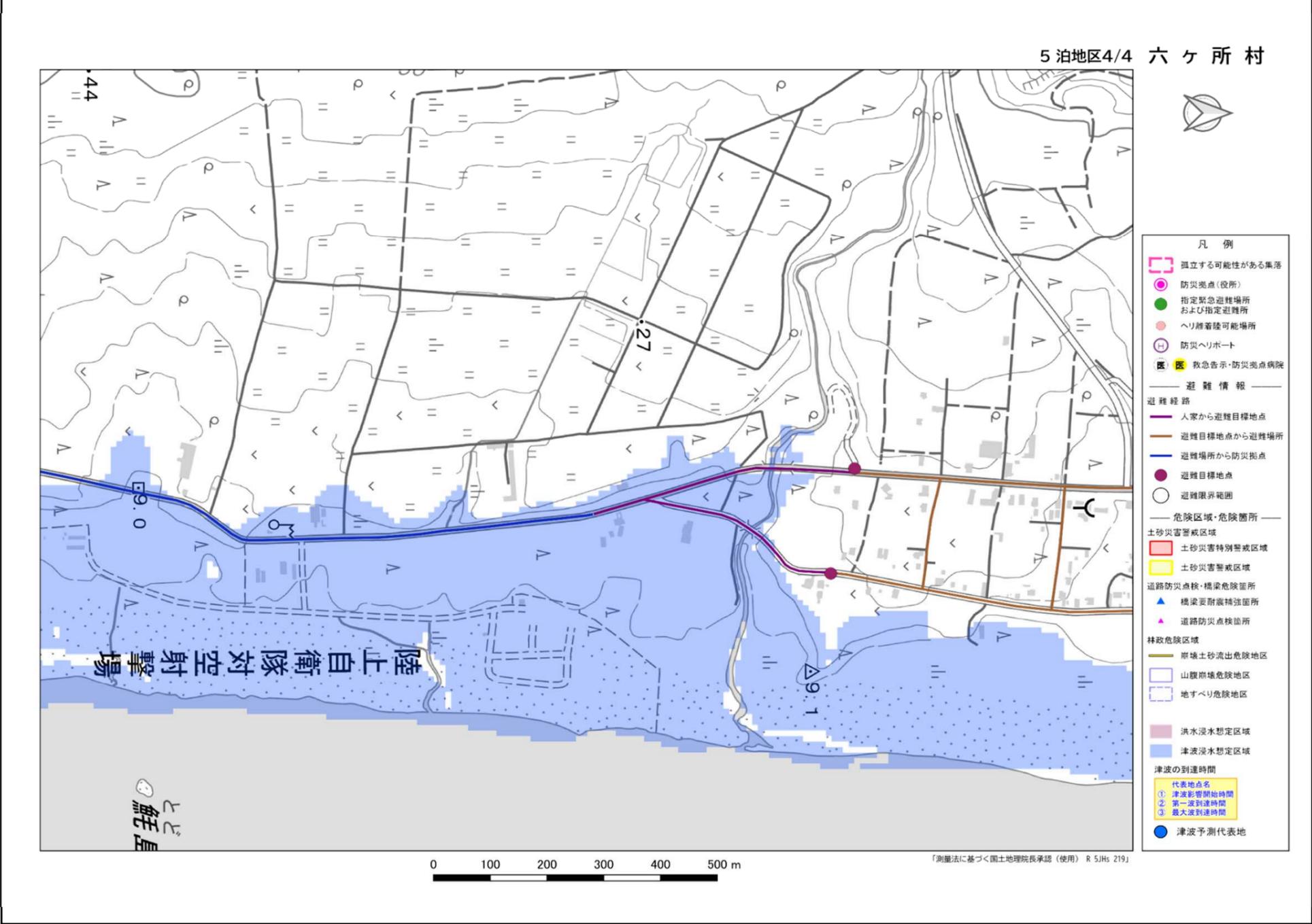
事業種別	箇所番号	実施主体	事業名(事業箇所)	施策実施状況
-	-	-	-	-

4.物資の輸送手段の確保

・孤立する恐れはないが、泊小中学校グラウンドはヘリ離着陸可能である。

防災公共推進計画 上北県土整備事務所管内【六ヶ所村】⑤泊地区4/4（津波浸水想定区域）検討結果

1.地区の検討図面



2.避難場所の確保

2-1.利用可能な避難場所（地区内）

避難所・避難場所名	避難所種別
-	-
-	-
-	-
-	-
-	-

2-2.利用可能な避難場所（地区外）

避難所・避難場所名	地区名	避難所種別
泊小中学校	③泊地区2/4	指定避難所
-	-	-
-	-	-
-	-	-
-	-	-

2-3.利用不可な避難場所

避難所・避難場所名	利用不可の理由	避難所種別
-	-	-
-	-	-
-	-	-
-	-	-
-	-	-

3.避難経路の確保

・隣接する地区の泊小中学校への避難経路上に阻害する恐れのある危険箇所はない。

事業種別	箇所番号	実施主体	事業名(事業箇所)	施策実施状況
-	-	-	-	-
-	-	-	-	-
-	-	-	-	-
-	-	-	-	-
-	-	-	-	-

【地区の検討結果】 ※検討地区内には洪水浸水想定区域はない。

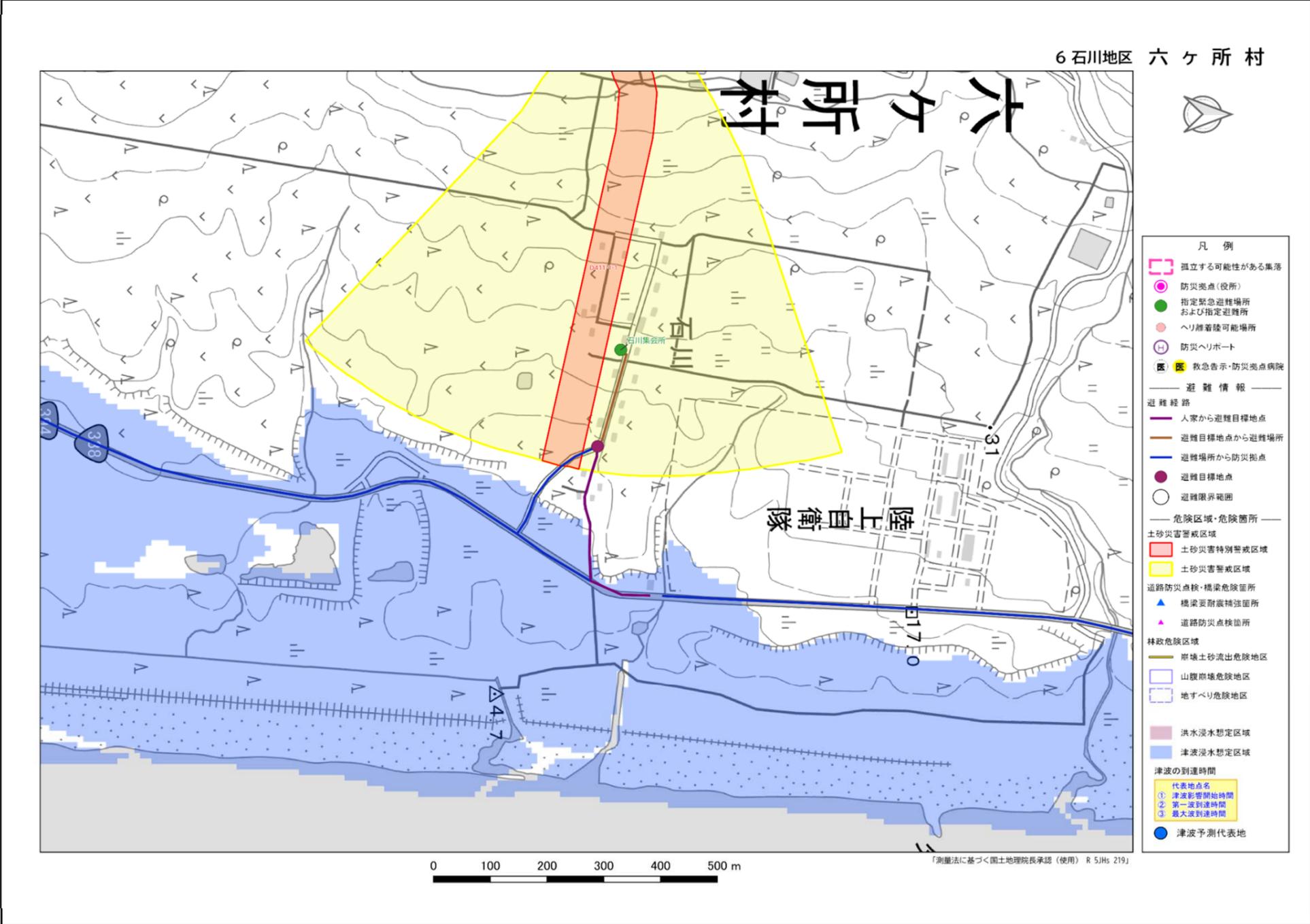
地区名	比較検討	①避難目標地点	②避難限界範囲	③避難場所	④避難経路	⑤物資の輸送手段	⑥孤立解消の方策	⑦孤立の判定
⑤泊地区4/4 (津波浸水)	検討前	・避難目標地点は2箇所。 (浸水区域拡大のため再検討が必要)	・避難限界範囲は300m。 (津波影響開始時間が変わるため再検討が必要)	・避難場所は地区内には指定されていない。	・避難所までの経路上に阻害する恐れのある危険箇所はない。	・地区内にヘリポート利用可能なスペースはない。	/	/
	検討後	・避難目標地点は2箇所。 ・危険区域外にあるため安全である。	・避難限界範囲の設定なし。	・避難場所は隣接する地区の泊小中学校を利用する。	・隣接する地区の泊小中学校への避難経路上に阻害する恐れのある危険箇所はない。	・孤立する恐れはないが、隣接する地区の泊小中学校グラウンドはヘリ離着陸可能である。		

4.物資の輸送手段の確保

・孤立する恐れはないが、隣接する地区の泊小中学校グラウンドはヘリ離着陸可能である。

防災公共推進計画 上北県土整備事務所管内【六ヶ所村】 ⑥石川地区（津波浸水想定区域） 検討結果

1.地区の検討図面



2.避難場所の確保

2-1.利用可能な避難場所（地区内）		
避難所・避難場所名	避難所種別	
-	-	
2-2.利用可能な避難場所（地区外）		
避難所・避難場所名	地区名	避難所種別
地域交流ホーム	⑦出戸地区	指定避難所
2-3.利用不可な避難場所		
避難所・避難場所名	利用不可の理由	避難所種別
石川集会所	危険箇所内	指定緊急避難場所

3.避難経路の確保

・隣接する地区の地域交流ホームへの避難経路上に危険箇所があり、速やかに国道へ迂回し避難する。

事業種別	箇所番号	実施主体	事業名(事業箇所)	施策実施状況
土石流	411-I-1	県	石川	【未実施】

【地区の検討結果】 ※検討地区内には洪水浸水想定区域はない。

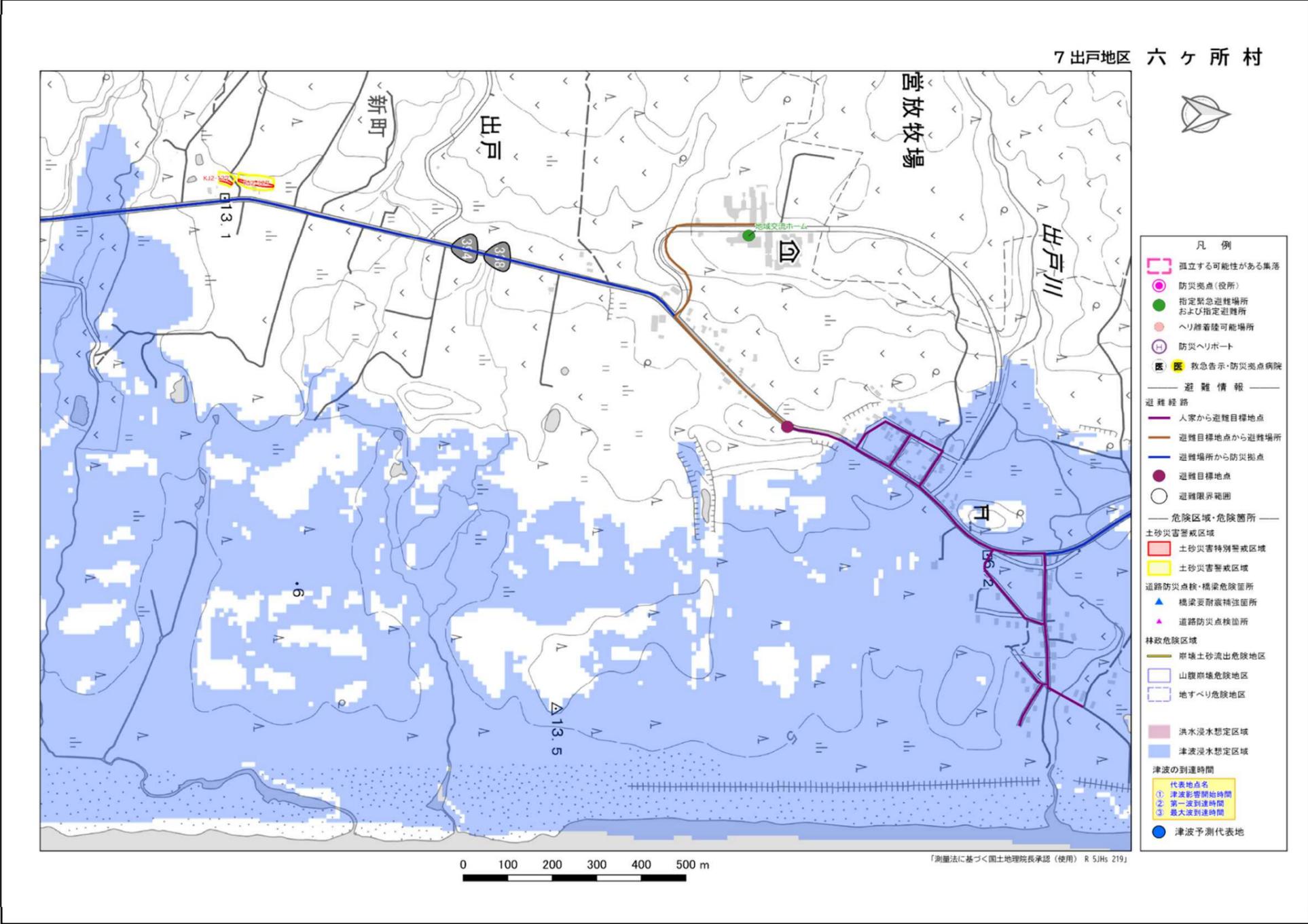
地区名	比較検討	①避難目標地点	②避難限界範囲	③避難場所	④避難経路	⑤物資の輸送手段	⑥孤立解消の方策	⑦孤立の判定
⑥石川地区 (津波浸水)	検討前	・避難目標地点は1箇所。 (浸水区域拡大のため再検討が必要)	・避難限界範囲は300m。 (津波影響開始時間が変わるため再検討が必要)	・避難場所は1箇所指定されており、安全。	・避難所までの経路上に障害する恐れのある危険箇所はある。	・地区内にヘリポート利用可能なスペースはない。	/	/
	検討後	・避難目標地点は1箇所。 ・危険区域外にあるため安全である。	・避難限界範囲の設定なし。	・避難場所は隣接する地区の地域交流ホームを利用する。(石川集会所は危険区域内にある)	・隣接する地区の地域交流ホームへの避難経路上に危険箇所があり、大雨災害時に土石流411-I-1がある。	・孤立する恐れはないが、隣接する地区の陸上自衛隊施設はヘリ離着陸可能である。		

4.物資の輸送手段の確保

・孤立する恐れはないが、隣接する地区の陸上自衛隊施設はヘリ離着陸可能である。

防災公共推進計画 上北県土整備事務所管内【六ヶ所村】 ⑦出戸地区（津波浸水想定区域） 検討結果

1.地区の検討図面



【地区の検討結果】 ※検討地区内には洪水浸水想定区域はない。

地区名	比較検討	①避難目標地点	②避難限界範囲	③避難場所	④避難経路	⑤物資の輸送手段	⑥孤立解消の方策	⑦孤立の判定
⑦出戸地区 (津波浸水)	検討前	・避難目標地点は1箇所。 (浸水区域拡大のため再検討が必要)	・避難限界範囲は300m。 (津波影響開始時間が変わるため再検討が必要)	・避難場所は1箇所指定されており、安全。	・避難所までの経路上に阻害する恐れのある危険箇所はない。	・地区内のヘリポート1箇所利用可能。		
	検討後	・避難目標地点の設定なし。	・避難限界範囲の設定なし。	・避難場所は地域交流ホームを利用する。	・地域交流ホームへの避難経路上に阻害する恐れのある危険箇所はない。	・孤立する恐れはないが、地域交流ホーム駐車場はヘリ離着陸可能である。		

2.避難場所の確保

2-1.利用可能な避難場所（地区内）		
避難所・避難場所名	地区名	避難所種別
地域交流ホーム		指定避難所
避難困難地域は、車による避難を前提とする		
2-2.利用可能な避難場所（地区外）		
避難所・避難場所名	地区名	避難所種別
-	-	-
2-3.利用不可な避難場所		
避難所・避難場所名	利用不可の理由	避難所種別
-	-	-

3.避難経路の確保

・地域交流ホームへの避難経路上に阻害する恐れのある危険箇所はない。

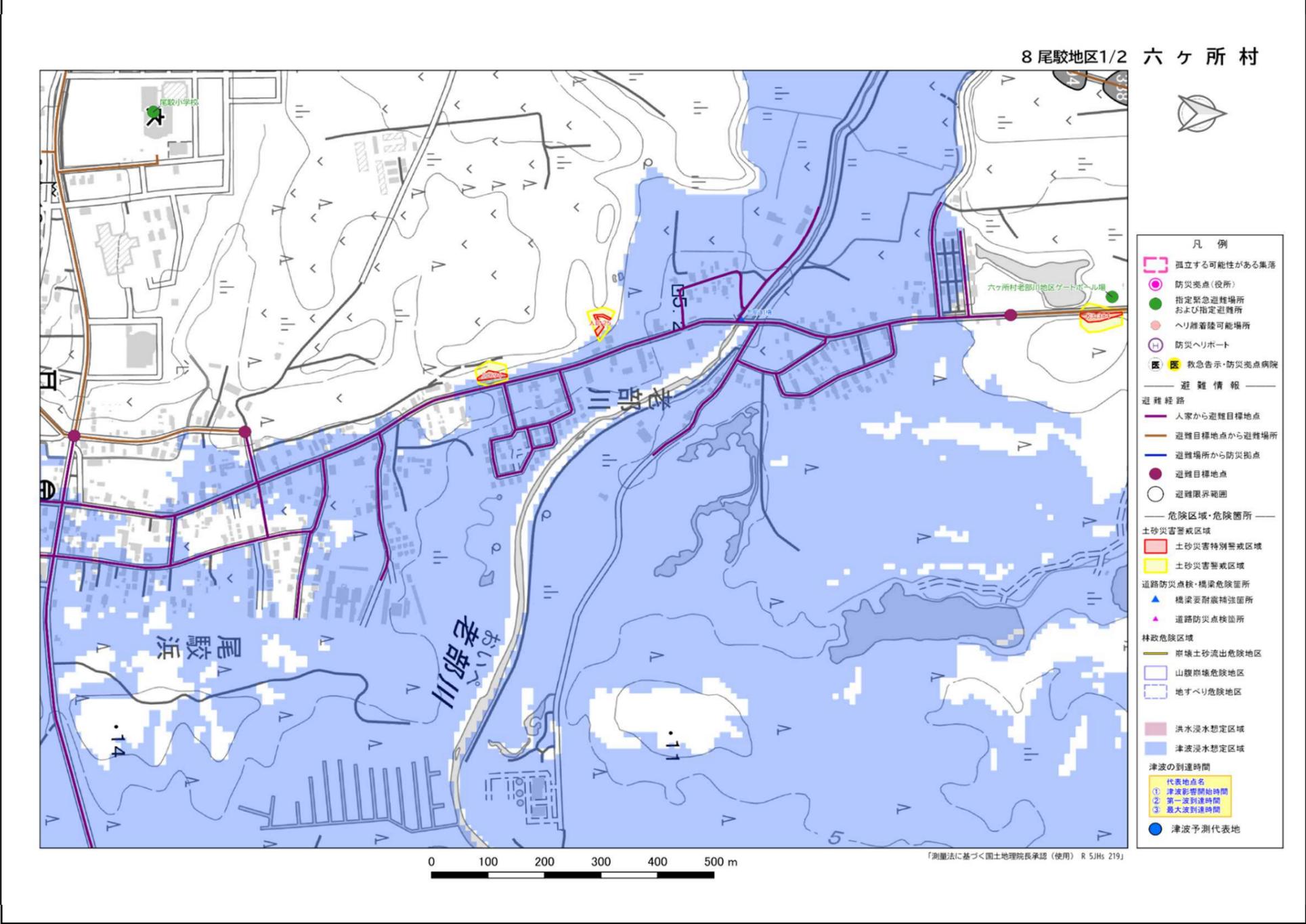
事業種別	箇所番号	実施主体	事業名(事業箇所)	施策実施状況
-	-	-	-	-

4.物資の輸送手段の確保

・孤立する恐れはないが、地域交流ホーム駐車場はヘリ離着陸可能である。

防災公共推進計画 上北県土整備事務所管内【六ヶ所村】 ⑧尾駮地区1/2（津波浸水想定区域）検討結果

1.地区の検討図面



2.避難場所の確保

2-1.利用可能な避難場所（地区内）

避難所・避難場所名	避難所種別
尾駮小学校	指定避難所
第一中学校	指定避難所
文化交流プラザ（スワニー）	指定避難所

避難困難地域は、車による避難を前提とする

2-2.利用可能な避難場所（地区外）

避難所・避難場所名	地区名	避難所種別
-	-	-
-	-	-
-	-	-
-	-	-

2-3.利用不可な避難場所

避難所・避難場所名	利用不可の理由	避難所種別
-	-	-
-	-	-
-	-	-
-	-	-

3.避難経路の確保

・尾駮小学校、第一中学校、文化交流プラザ（スワニー）への避難経路上に阻害する恐れのある危険箇所はない。

事業種別	箇所番号	実施主体	事業名(事業箇所)	施策実施状況
急傾斜地	Ⅲ-384	県	押付沢	【事業完了】

【地区の検討結果】 ※検討地区内には洪水浸水想定区域はない。

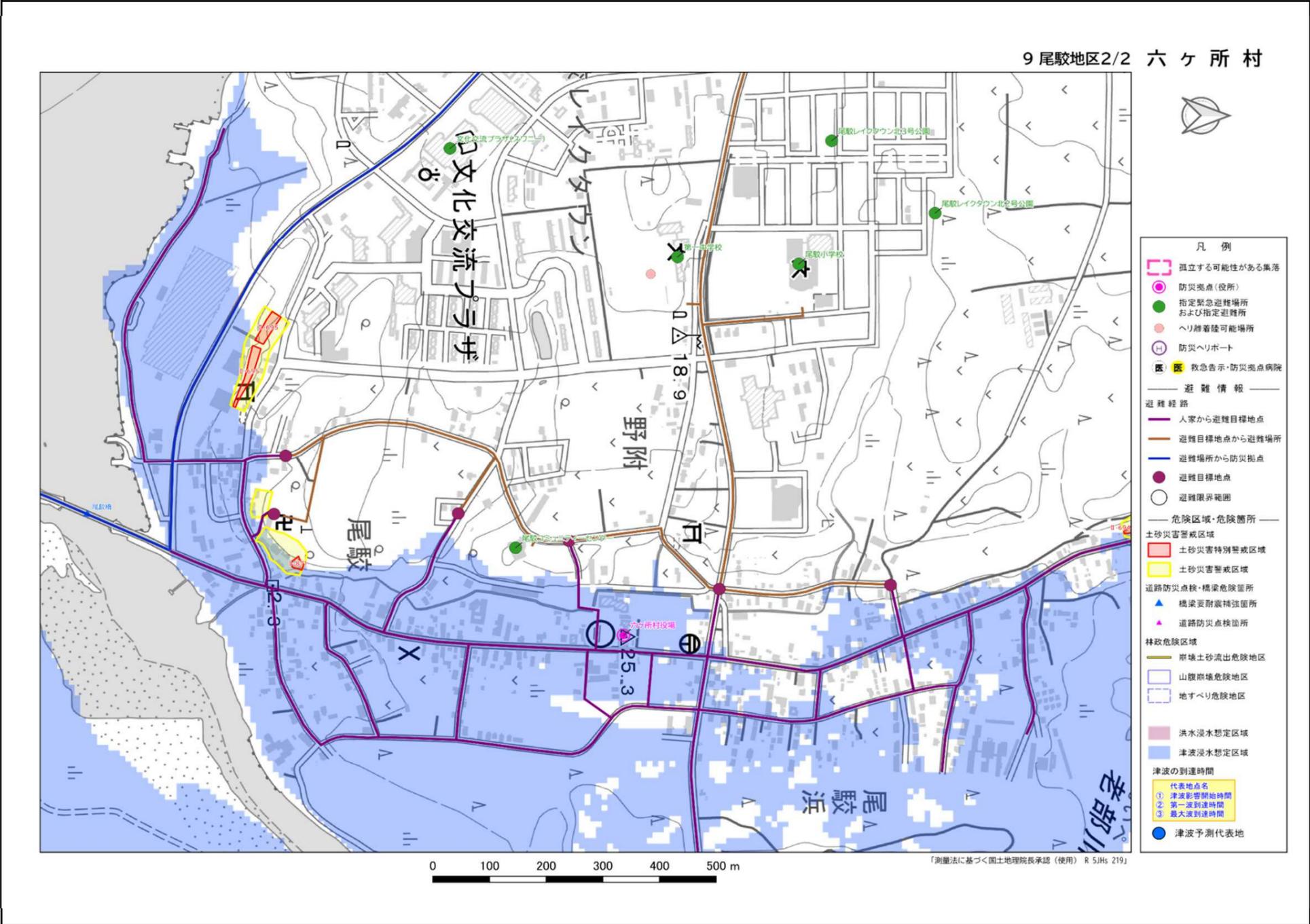
地区名	比較検討	①避難目標地点	②避難限界範囲	③避難場所	④避難経路	⑤物資の輸送手段	⑥孤立解消の方策	⑦孤立の判定
⑧尾駮地区1/2 (津波浸水)	検討前	・避難目標地点は2箇所。 (浸水区域拡大のため再検討が必要)	・避難限界範囲は300m。 (津波影響開始時間が変わるため再検討が必要)	・避難場所は3箇所指定されており、安全。	・避難所までの経路上に阻害する恐れのある危険箇所はない。			
	検討後	・避難目標地点は2箇所。 ・2箇所の目標地点を移動し浸水区域外にあるため安全である。	・避難限界範囲の設定なし。	・避難場所は尾駮小学校、第一中学校、文化交流プラザ（スワニー）を利用する。	・尾駮小学校、第一中学校、文化交流プラザ「スワニー」への避難経路上に阻害する恐れのある危険箇所はない。			

4.物資の輸送手段の確保

--

防災公共推進計画 上北県土整備事務所管内【六ヶ所村】 ⑨尾駮地区2/2 (津波浸水想定区域) 検討結果

1.地区の検討図面



2.避難場所の確保

2-1.利用可能な避難場所 (地区内)		
避難所・避難場所名	避難所種別	
尾駮小学校	指定避難所	
第一中学校	指定避難所	
文化交流プラザ (スワニー)	指定避難所	
尾駮コミュニティセンター	指定緊急避難場所	
避難困難地域は、車による避難を前提とする		
2-2.利用可能な避難場所 (地区外)		
避難所・避難場所名	地区名	避難所種別
-	-	-
-	-	-
-	-	-
-	-	-
2-3.利用不可な避難場所		
避難所・避難場所名	利用不可の理由	避難所種別
-	-	-
-	-	-
-	-	-
-	-	-
-	-	-

3.避難経路の確保

・尾駮小学校、第一中学校、文化交流プラザ (スワニー) への避難経路上に阻害する恐れのある危険箇所はない。

事業種別	箇所番号	実施主体	事業名(事業箇所)	施策実施状況
急傾斜地	I-871	県	尾駮	【事業完了】

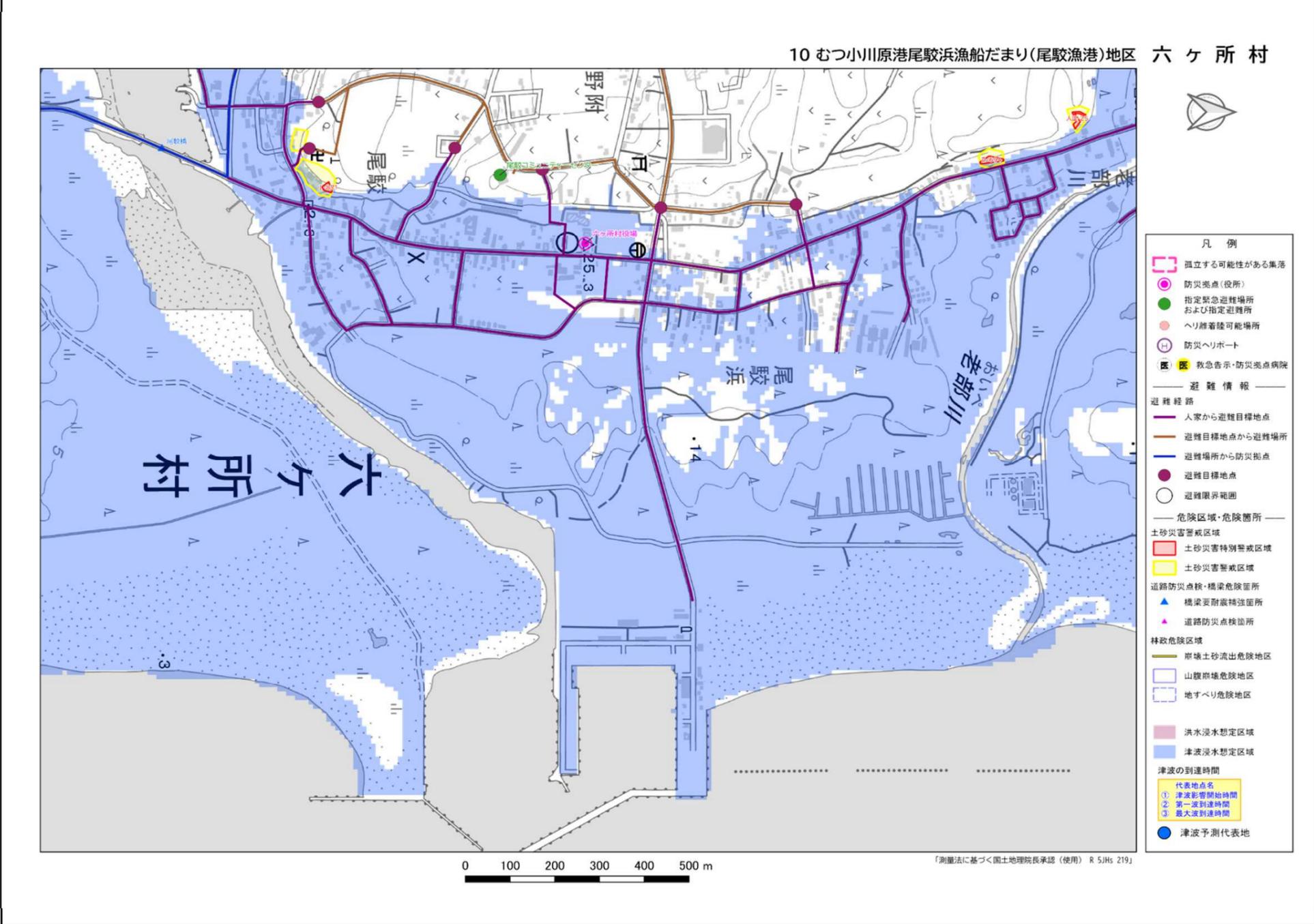
【地区の検討結果】 ※検討地区内には洪水浸水想定区域はない。

地区名	比較検討	①避難目標地点	②避難限界範囲	③避難場所	④避難経路	⑤物資の輸送手段	⑥孤立解消の方策	⑦孤立の判定
⑨尾駮地区2/2 (津波浸水)	検討前	・避難目標地点は5箇所。 (浸水区域拡大のため再検討が必要)	・避難限界範囲は300m。 (津波影響開始時間が変わるため再検討が必要)	・避難場所は3箇所指定されており、安全。	・避難所までの経路上に阻害する恐れのある危険箇所はない。	・当地区は孤立する恐れはないものの、地区内のヘリポート1箇所利用可能。		
	検討後	・避難目標地点は5箇所。 ・5箇所の目標地点を移動し浸水区域外にあるため安全である。	・避難限界範囲の設定なし。	・避難場所は尾駮小学校、第一中学校、文化交流プラザ (スワニー) を利用する。	・尾駮小学校、第一中学校、文化交流プラザ (スワニー) への避難経路上に阻害する恐れのある危険箇所はない。	・第一中学校グラウンドはヘリ離着陸可能である。		

4.物資の輸送手段の確保

・孤立する恐れはないが、第一中学校グラウンドはヘリ離着陸可能である。

1.地区の検討図面



2.避難場所の確保

2-1.利用可能な避難場所(地区内)		
避難所・避難場所名	避難所種別	
—	—	
むつ小川原港尾駁浜船だまり周辺は車による避難とする。		
2-2.利用可能な避難場所(地区外)		
避難所・避難場所名	地区名	避難所種別
尾駁小学校	⑨尾駁地区2/2	指定避難所
第一中学校	⑨尾駁地区2/2	指定避難所
文化交流プラザ(スワニー)	⑨尾駁地区2/2	指定避難所
2-3.利用不可な避難場所		
避難所・避難場所名	利用不可の理由	避難所種別
—	—	—

3.避難経路の確保

・隣接する地区の尾駁小学校、第一中学校、文化交流プラザ(スワニー)への避難経路上に阻害する恐れのある危険箇所はない。

事業種別	箇所番号	実施主体	事業名(事業箇所)	施策実施状況
—	—	—	—	—

【地区の検討結果】 ※検討地区内には洪水浸水想定区域はない。

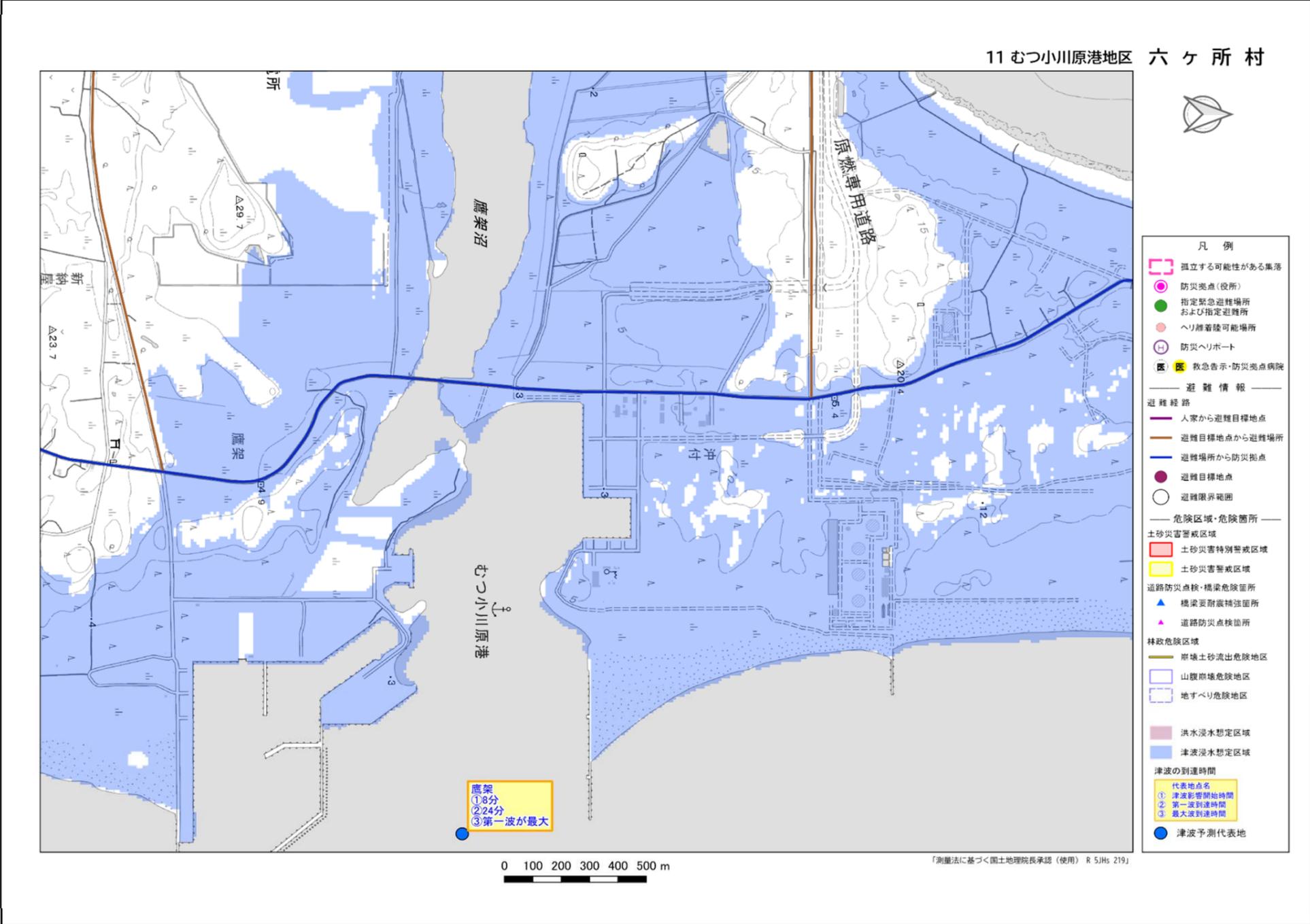
地区名	比較検討	①避難目標地点	②避難限界範囲	③避難場所	④避難経路	⑤物資の輸送手段	⑥孤立解消の方策	⑦孤立の判定
⑩むつ小川原港尾駁浜漁船だまり(尾駁漁港)地区(津波浸水)	検討前	・避難目標地点の設定なし。	・避難限界範囲の設定なし。	・避難場所の設定なし。	・避難経路の設定なし。			
	検討後	・避難目標地点の設定なし。	・避難限界範囲の設定なし。	・避難場所は隣接する地区の尾駁小学校、第一中学校、文化交流プラザ(スワニー)を利用する。(むつ小川原港尾駁浜船だまり周辺は車による避難とする。)	・隣接する地区の尾駁小学校、第一中学校、文化交流プラザ(スワニー)への避難経路上に阻害する恐れのある危険箇所はない。			

4.物資の輸送手段の確保

--

防災公共推進計画 上北県土整備事務所管内【六ヶ所村】 ⑪むつ小川原港地区（津波浸水想定区域） 検討結果

1.地区の検討図面



【地区の検討結果】 ※検討地区内には洪水浸水想定区域はない。

地区名	比較検討	①避難目標地点	②避難限界範囲	③避難場所	④避難経路	⑤物資の輸送手段	⑥孤立解消の方策	⑦孤立の判定
⑪むつ小川原港地区（津波浸水）	検討前	・避難目標地点の設定なし。	・避難限界範囲の設定なし。	・避難場所の設定なし。	・避難所までの経路上に阻害する恐れのある危険箇所はない。			
	検討後	・避難目標地点の設定なし。	・避難限界範囲の設定なし。	・避難場所は隣接する地区の尾駮小学校、第一中学校、文化交流プラザ（スワニー）、スパハウスろっかぼっかを利用する。（地区全域、車による避難を前提とする）	・隣接する地区の尾駮小学校、第一中学校、文化交流プラザ（スワニー）、スパハウスろっかぼっかへの避難経路上に阻害する恐れのある危険箇所はない。			

2.避難場所の確保

2-1.利用可能な避難場所（地区内）		
避難所・避難場所名	避難所種別	
-	-	
地区全域、車による避難を前提とする		
2-2.利用可能な避難場所（地区外）		
避難所・避難場所名	地区名	避難所種別
尾駮小学校	⑨尾駮地区2/2	指定避難所
第一中学校	⑨尾駮地区2/2	指定避難所
文化交流プラザ（スワニー）	⑨尾駮地区2/2	指定避難所
スパハウスろっかぼっか	隣接地区	指定避難所
2-3.利用不可な避難場所		
避難所・避難場所名	利用不可の理由	避難所種別
-	-	-

3.避難経路の確保

・隣接する地区の尾駮小学校、第一中学校、文化交流プラザ（スワニー）、スパハウスろっかぼっかへの避難経路上に阻害する恐れのある危険箇所はない。

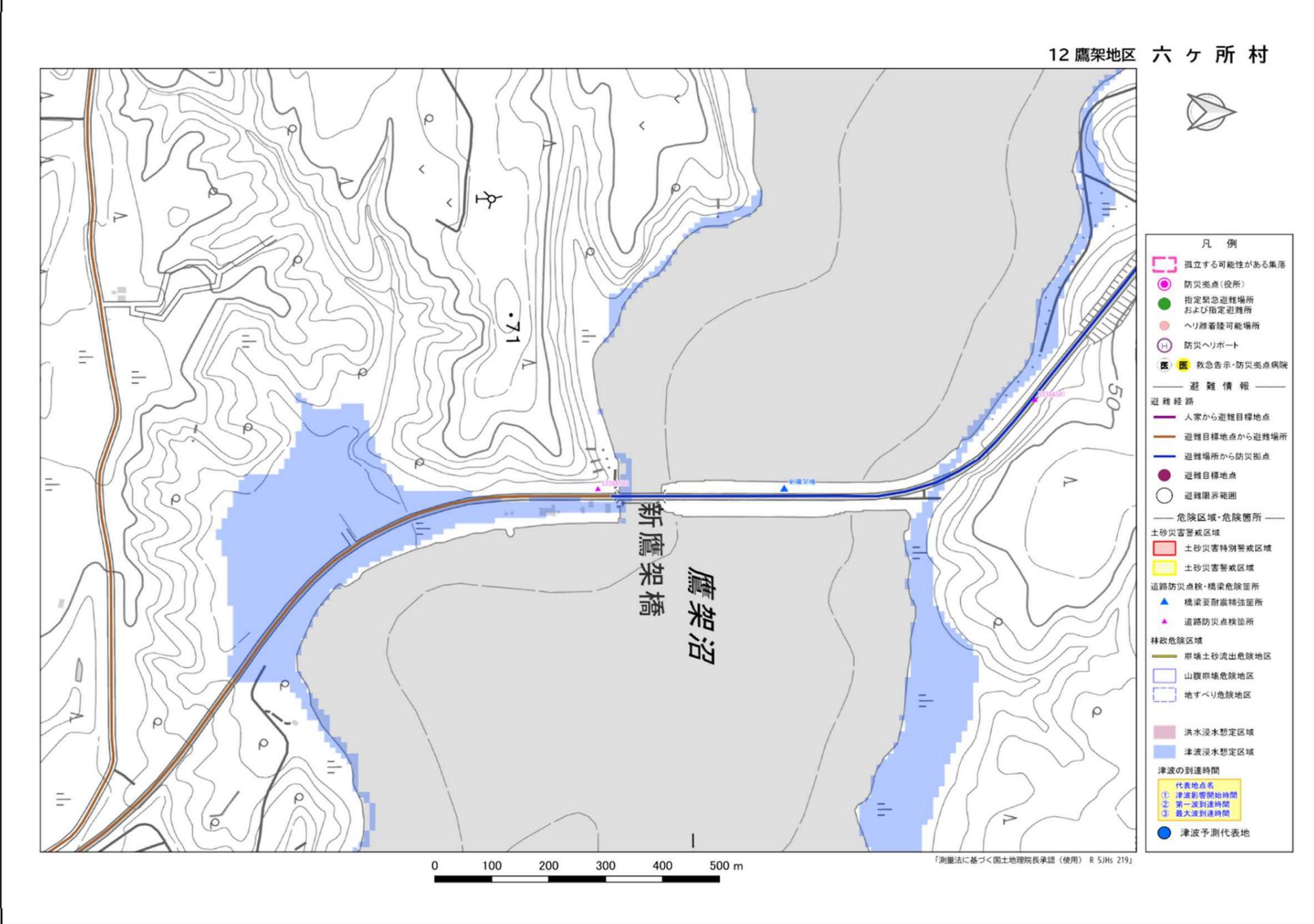
事業種別	箇所番号	実施主体	事業名(事業箇所)	施策実施状況
-	-	県	港湾避難計画の策定	【事業完了】

4.物資の輸送手段の確保

--

防災公共推進計画 上北県土整備事務所管内【六ヶ所村】 ⑫鷹架地区（津波浸水想定区域） 検討結果

1.地区の検討図面



2.避難場所の確保

2-1.利用可能な避難場所（地区内）

避難所・避難場所名	避難所種別
-	-
地区全域、車による避難を前提とする	

2-2.利用可能な避難場所（地区外）

避難所・避難場所名	地区名	避難所種別
スパハウスろっかぼっか	隣接地区	指定避難所

2-3.利用不可な避難場所

避難所・避難場所名	利用不可の理由	避難所種別
-	-	-

3.避難経路の確保

・隣接する地区のスパハウスろっかぼっかへの避難経路上に阻害する恐れのある危険箇所はない。

事業種別	箇所番号	実施主体	事業名(事業箇所)	施策実施状況
橋梁未耐震	新鷹架橋	県	下部工耐震補強工事	【事業中】

【地区の検討結果】 ※検討地区内には洪水浸水想定区域はない。

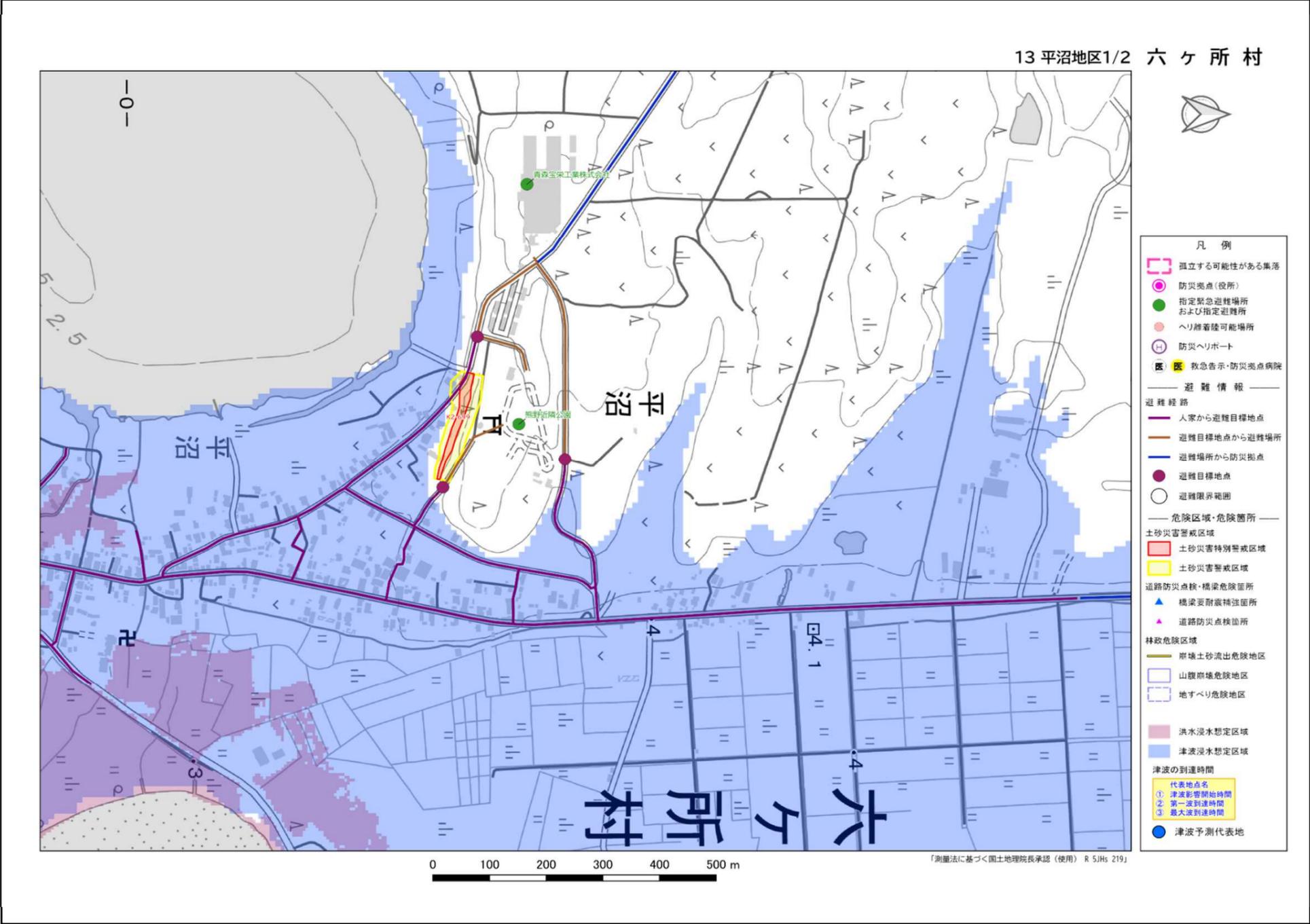
地区名	比較検討	①避難目標地点	②避難限界範囲	③避難場所	④避難経路	⑤物資の輸送手段	⑥孤立解消の方策	⑦孤立の判定
⑫鷹架地区 (津波浸水)	検討前	・避難目標地点は1箇所。 (浸水区域拡大のため再検討が必要)	・避難限界範囲は300m。 (津波影響開始時間が変わるため再検討が必要)	・避難場所の設定なし。	・避難所までの経路上に阻害する恐れのある危険箇所はない。			
	検討後	・避難目標地点の設定なし。	・避難限界範囲の設定なし。	・避難場所は隣接する地区のスパハウスろっかぼっかを利用する。(地区全域、車による避難を前提とする)	・隣接する地区のスパハウスろっかぼっかへの避難経路上に阻害する恐れのある危険箇所はない。			

4.物資の輸送手段の確保

（This area is currently blank in the provided image, indicating no specific measures were identified for material transport in this context.)

防災公共推進計画 上北県土整備事務所管内【六ヶ所村】 ⑬平沼地区1/2（津波・洪水浸水想定区域） 検討結果

1.地区の検討図面



【地区の検討結果】

地区名	比較検討	①避難目標地点	②避難限界範囲	③避難場所	④避難経路	⑤物資の輸送手段	⑥孤立解消の方策	⑦孤立の判定
⑬平沼地区1/2 (津波・洪水浸水)	検討前	・避難目標地点は2箇所。 (浸水区域拡大のため再検討が必要)	・避難限界範囲は300m。 (津波影響開始時間が変わるため再検討が必要)	・避難場所は1箇所指定されており、安全。	・避難所までの経路上に阻害する恐れのある危険箇所はある。			
	検討後	・避難目標地点は3箇所。 ・2箇所の目標地点を移動、1箇所追加し浸水区域外にあるため安全である。	・避難限界範囲の設定なし。	・避難場所は熊野近隣公園、青森宝栄工業(株)を利用する。	・熊野近隣公園、青森宝栄工業(株)への避難経路上に阻害する恐れのある危険箇所があり急傾斜地Ⅱ-699の対策が必要である。			

2.避難場所の確保

2-1.利用可能な避難場所(地区内)		
避難所・避難場所名	避難所種別	
熊野近隣公園	指定緊急避難場所	
青森宝栄工業(株)	指定緊急避難場所	
避難困難地域は、車による避難を前提とする		
2-2.利用可能な避難場所(地区外)		
避難所・避難場所名	地区名	避難所種別
第二中学校	隣接地区	指定避難所
2-3.利用不可な避難場所		
避難所・避難場所名	利用不可の理由	避難所種別
-	-	-

3.避難経路の確保

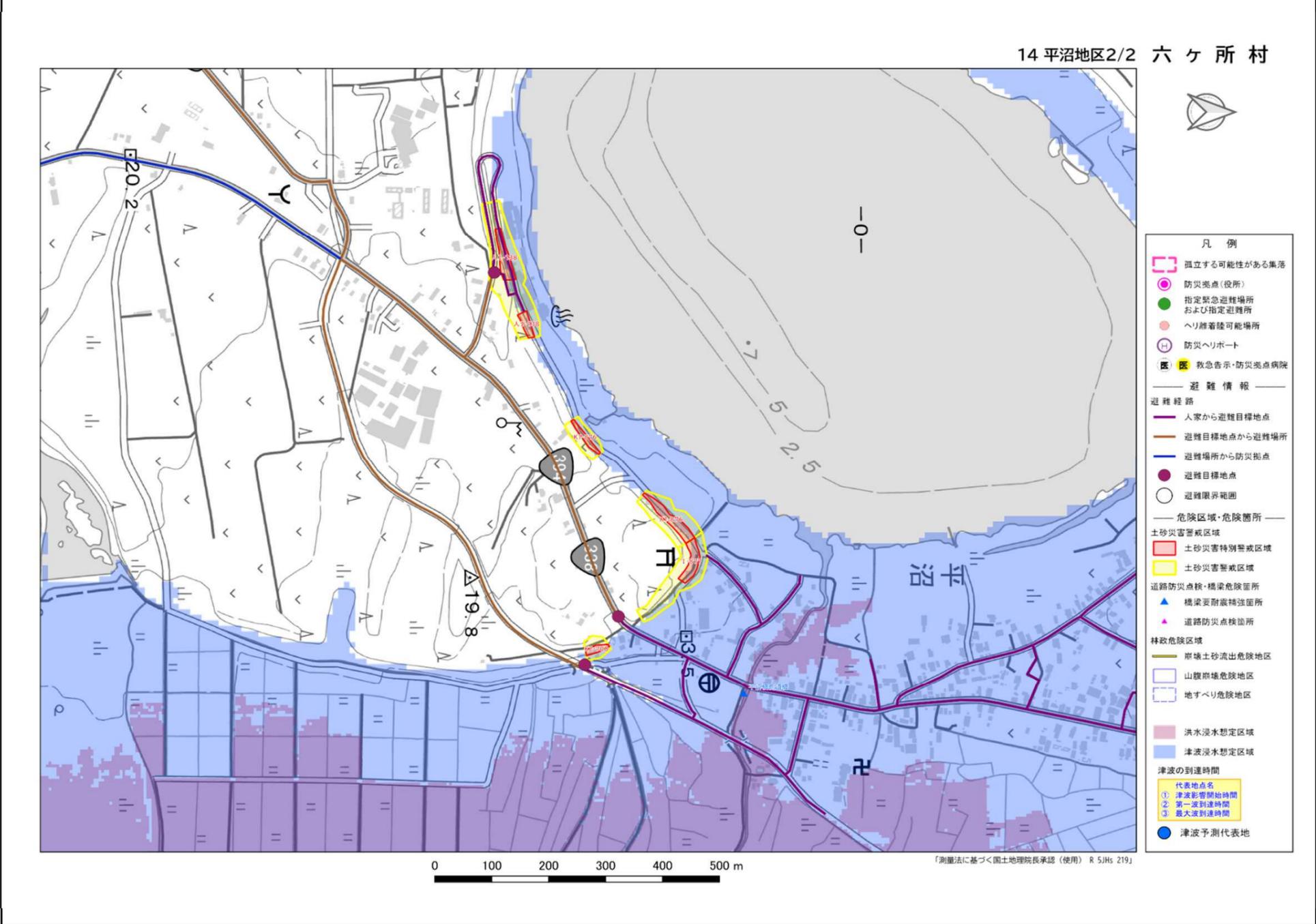
・熊野近隣公園、青森宝栄工業(株)への避難経路上に阻害する恐れのある危険箇所があり対策が必要であるが、迂回して避難可能である。

事業種別	箇所番号	実施主体	事業名(事業箇所)	施策実施状況
急傾斜地	Ⅱ-699	県	追館	【未実施】

4.物資の輸送手段の確保

防災公共推進計画 上北県土整備事務所管内【六ヶ所村】 ⑭平沼地区2/2（津波・洪水浸水想定区域） 検討結果

1.地区の検討図面



2.避難場所の確保

2-1.利用可能な避難場所（地区内）

避難所・避難場所名	避難所種別
-	-
避難困難地域は、車による避難を前提とする	

2-2.利用可能な避難場所（地区外）

避難所・避難場所名	地区名	避難所種別
第二中学校	隣接地区	指定避難所

2-3.利用不可な避難場所

避難所・避難場所名	利用不可の理由	避難所種別
-	-	-

3.避難経路の確保

隣接する地区の第二中学校への避難経路上に阻害する恐れのある危険箇所はない

事業種別	箇所番号	実施主体	事業名(事業箇所)	施策実施状況
-	-	-	-	-

【地区の検討結果】

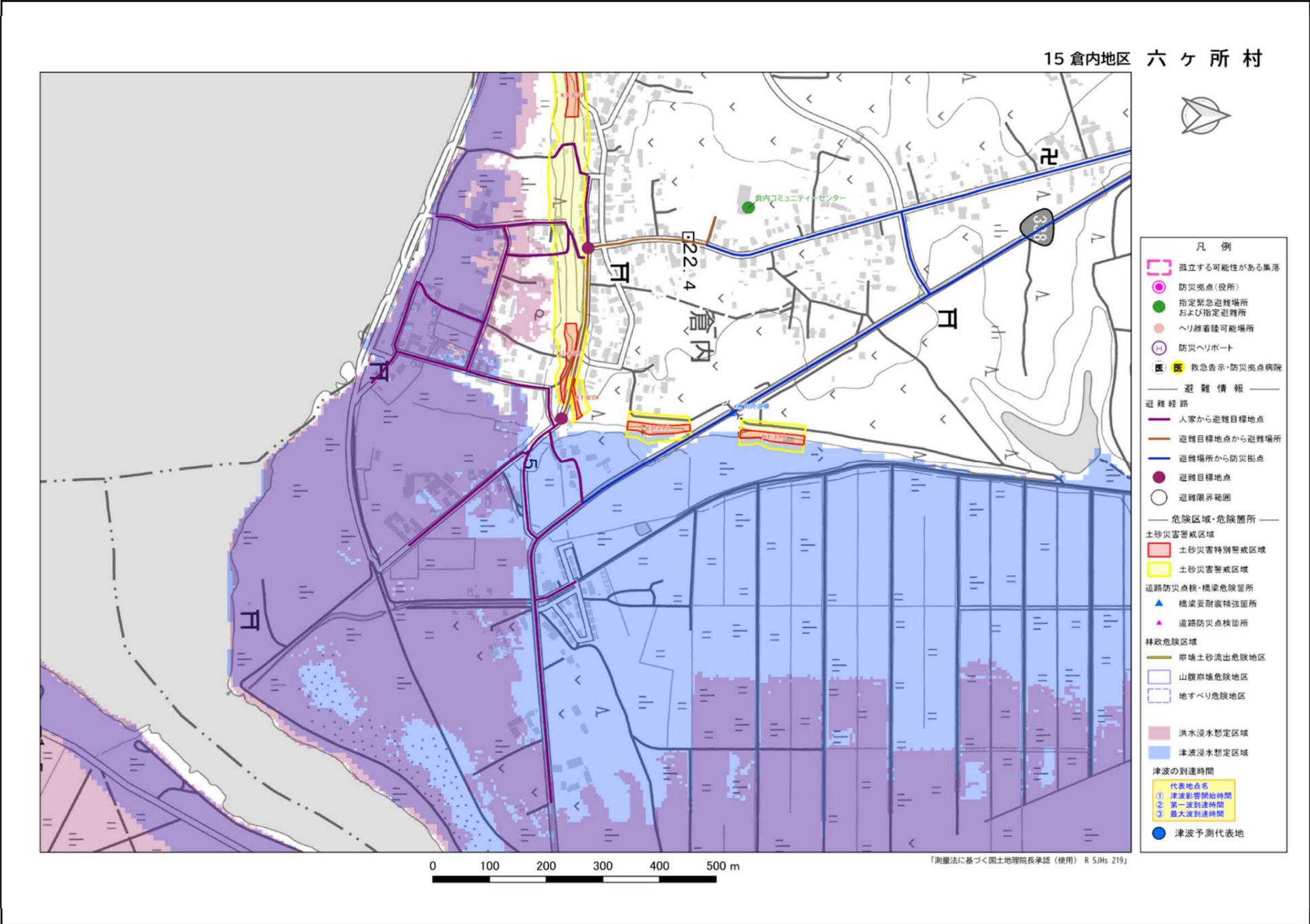
地区名	比較検討	①避難目標地点	②避難限界範囲	③避難場所	④避難経路	⑤物資の輸送手段	⑥孤立解消の方策	⑦孤立の判定
⑭平沼地区2/2 (津波・洪水浸水)	検討前	・避難目標地点は3箇所。 (浸水区域拡大のため再検討が必要)	・避難限界範囲は300m。 (津波影響開始時間が変わるため再検討が必要)	・避難場所の設定なし。	・避難所までの経路上に阻害する恐れのある危険箇所はない。			
	検討後	・避難目標地点は3箇所。 ・3箇所の目標地点を移動し浸水区域外にあるため安全である。	・避難限界範囲の設定なし。	避難場所は隣接する地区の第二中学校を利用する	・隣接する地区の第二中学校への避難経路上に阻害する恐れのある危険箇所はない。			

4.物資の輸送手段の確保

--

防災公共推進計画 上北県土整備事務所管内【六ヶ所村】 ⑮倉内地区（津波・洪水浸水想定区域）検討結果

1.地区の検討図面



【地区の検討結果】

地区名	比較検討	①避難目標地点	②避難限界範囲	③避難場所	④避難経路	⑤物資の輸送手段	⑥孤立解消の方策	⑦孤立の判定
⑮倉内地区 (津波・洪水浸水)	検討前	・避難目標地点は2箇所。 (浸水区域拡大のため再検討が必要)	・避難限界範囲は300m。 (津波影響開始時間が変わるため再検討が必要)	・避難場所は1箇所指定されており、安全。	・避難所までの経路上に阻害する恐れのある危険箇所はある。			
	検討後	・避難目標地点は2箇所。 ・1箇所の目標地点を移動し浸水区域外にあるため安全である。	・避難限界範囲の設定なし。	・避難場所は倉内コミュニティーセンターを利用する。	・倉内コミュニティーセンターへの避難経路上に阻害する恐れのある危険箇所はあるが対策済みである。			

2.避難場所の確保

2-1.利用可能な避難場所(地区内)		
避難所・避難場所名	地区名	避難所種別
倉内コミュニティーセンター		指定避難所
避難困難地域は車による避難を前提とする		
2-2.利用可能な避難場所(地区外)		
避難所・避難場所名	地区名	避難所種別
-	-	-
2-3.利用不可な避難場所		
避難所・避難場所名	利用不可の理由	避難所種別
-	-	-

3.避難経路の確保

・倉内コミュニティーセンターへの避難経路上に阻害する恐れのある危険箇所はあるが対策済みである。

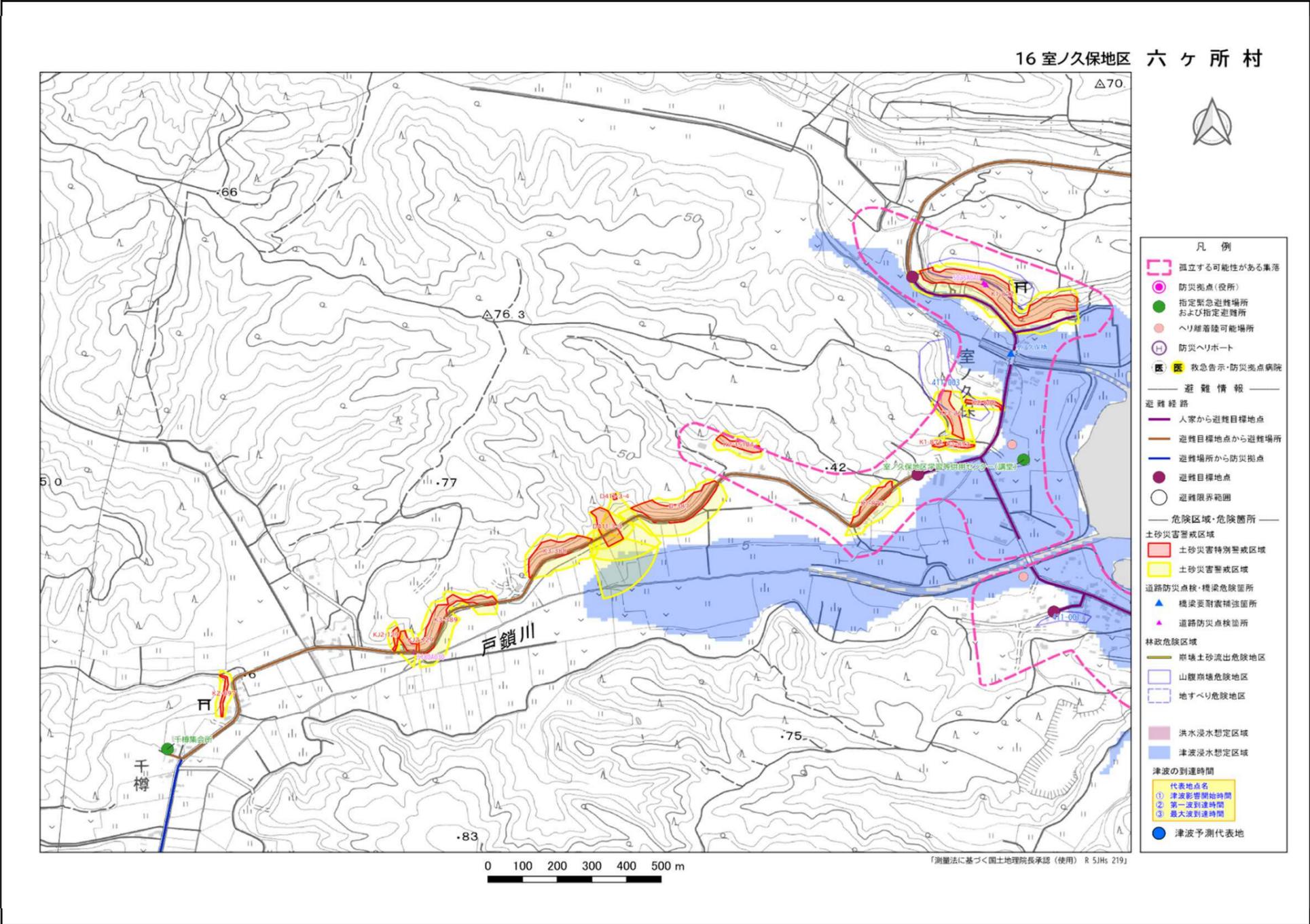
事業種別	箇所番号	実施主体	事業名(事業箇所)	施策実施状況
-	-	-	-	-

4.物資の輸送手段の確保

--

防災公共推進計画 上北県土整備事務所管内【六ヶ所村】 ⑯室ノ久保地区（孤立集落・津波浸水想定区域）検討結果

1.地区の検討図面



【地区の検討結果】 ※検討地区内には洪水浸水想定区域はない。

地区名	比較検討	①避難目標地点	②避難限界範囲	③避難場所	④避難経路	⑤物資の輸送手段	⑥孤立解消の方策	⑦孤立の判定
⑯室ノ久保地区 (孤立集落・津波浸水)	検討前	・避難目標地点は2箇所。 (浸水区域拡大のため再検討が必要)	・避難限界範囲は300m。 (津波影響開始時間が変わるため再検討が必要)	・避難場所は1箇所指定されており、安全。	・避難所までの経路上に阻害する恐れのある危険箇所はある。	・地区内にヘリポート利用可能なスペースはない。	・当地区の危険箇所対策の完了後、孤立する恐れは解消する。	孤立する
	検討後	・避難目標地点は3箇所。 ・2箇所の目標地点を移動、1箇所追加し浸水区域外にあるため安全である。	・避難限界範囲の設定なし。	・避難場所は室ノ久保学習等共用センター、千樽集会所、また隣接する地区の大石総合運動公園、総合体育館を利用する。(地区全域、車による避難を前提とする)	・室ノ久保学習等共用センター(土砂災害)への避難経路上に阻害する恐れのある危険箇所はない。 ・隣接する地区の大石総合運動公園、総合体育館、千樽集会所への避難経路上に阻害する恐れのある危険箇所があり、急傾斜地Ⅰ-872、Ⅱ-696、Ⅰ-875、Ⅲ-386は対策が必要である。	・隣接する地区の大石総合運動公園はヘリ離着陸可能である。	・当地区の危険箇所対策の完了後、孤立する恐れは解消する。	孤立する

2.避難場所の確保

2-1.利用可能な避難場所(地区内)		
避難所・避難場所名	避難所種別	
千樽集会所(津波)	指定緊急避難場所	
室ノ久保学習等共用センター(土砂災害)	指定避難所	
地区全域、車による避難を前提とする		
2-2.利用可能な避難場所(地区外)		
避難所・避難場所名	地区名	避難所種別
大石総合運動公園	隣接地区	指定緊急避難場所
総合体育館	隣接地区	指定避難所
2-3.利用不可な避難場所		
避難所・避難場所名	利用不可の理由	避難所種別
-	-	-

3.避難経路の確保

・室ノ久保学習等共用センター(土砂災害)への避難経路上に阻害する恐れのある危険箇所はない。

・隣接する地区の大石総合運動公園、総合体育館、千樽集会所への避難経路上に阻害する恐れのある危険箇所があり、対策が必要である。

・当地区の危険箇所対策の完了後、孤立する恐れは解消する。

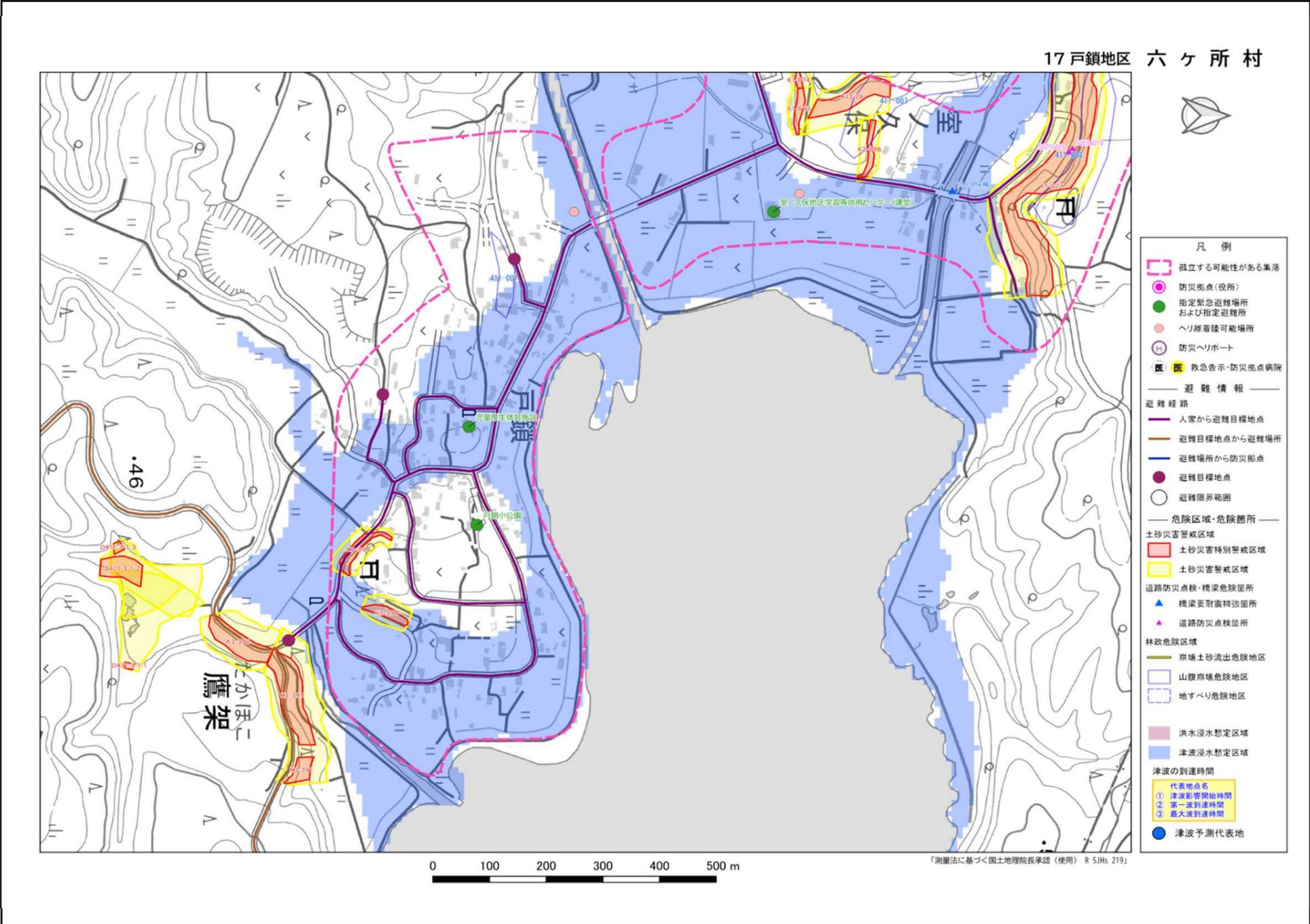
事業種別	箇所番号	実施主体	事業名(事業箇所)	施策実施状況
急傾斜地	Ⅰ-872	県	前田	【未実施】
急傾斜地	Ⅱ-696	県	川向1号	【未実施】
急傾斜地	Ⅰ-875	県	向田3号	【未実施】
急傾斜地	Ⅲ-386	県	向田4号	【未実施】
-	-	県	東北横浜線 室ノ久保バイパス	【事業完了】

4.物資の輸送手段の確保

・隣接する地区の大石総合運動公園はヘリ離着陸可能である。

防災公共推進計画 上北県土整備事務所管内【六ヶ所村】 ⑰戸鎖地区（孤立集落・津波浸水想定区域） 検討結果

1.地区の検討図面



2.避難場所の確保

2-1.利用可能な避難場所（地区内）		
避難所・避難場所名	避難所種別	
-	-	
地区全域、車による避難を前提とする		
2-2.利用可能な避難場所（地区外）		
避難所・避難場所名	地区名	避難所種別
スパハウスろっかぼっか	隣接地区	指定避難所
2-3.利用不可な避難場所		
避難所・避難場所名	利用不可の理由	避難所種別
-	-	-

3.避難経路の確保

・隣接する地区のスパハウスろっかぼっかへの避難経路上に阻害する恐れのある危険箇所があり、対策が必要である。
 ・当地区の危険箇所対策と戸鎖バイパス工事の完了後、孤立する恐れは解消する。

事業種別	箇所番号	実施主体	事業名(事業箇所)	施策実施状況
-	-	県	東北横浜線 戸鎖バイパス	【事業中】

【地区の検討結果】 ※検討地区内には洪水浸水想定区域はない。

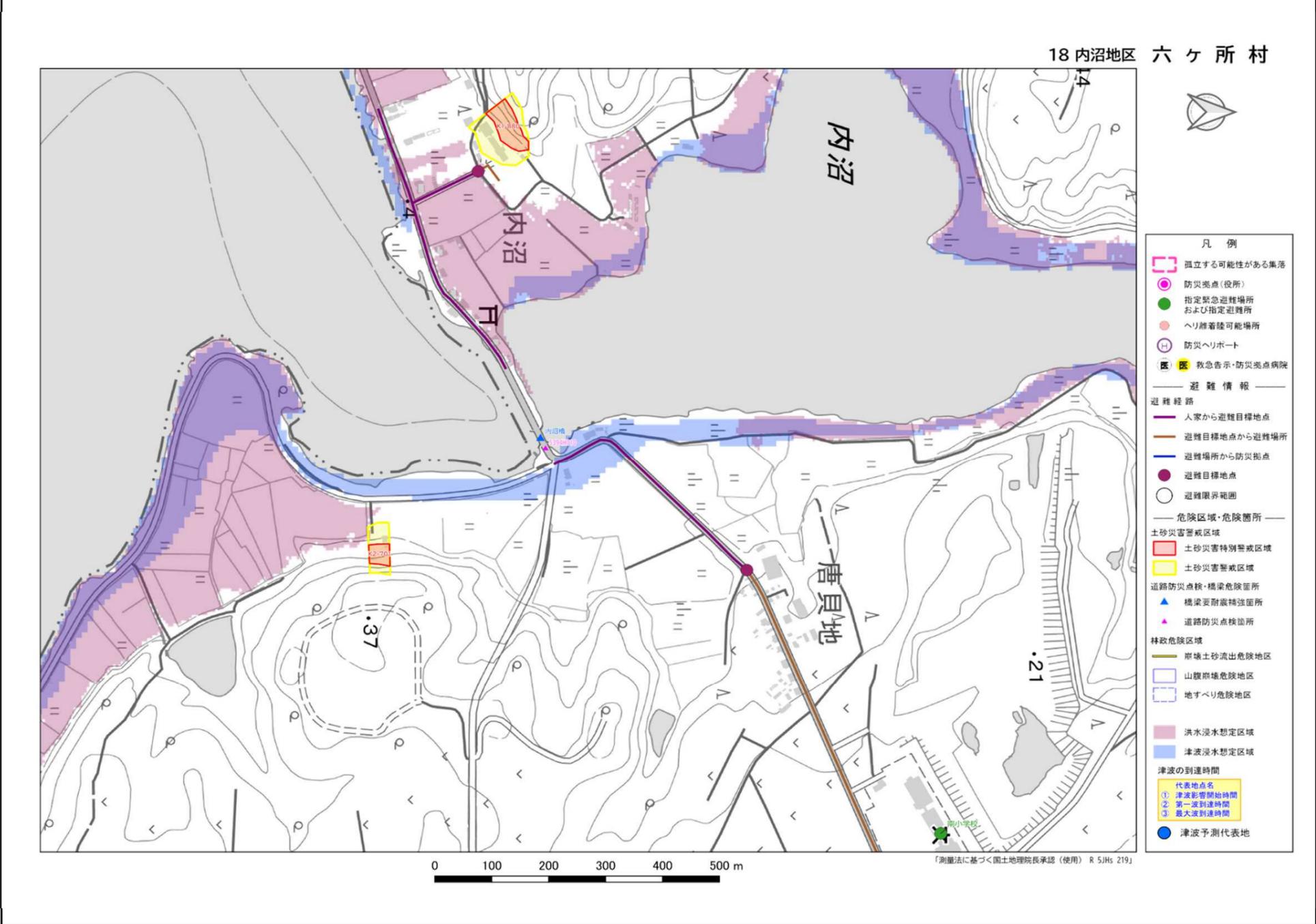
地区名	比較検討	①避難目標地点	②避難限界範囲	③避難場所	④避難経路	⑤物資の輸送手段	⑥孤立解消の方策	⑦孤立の判定
⑰戸鎖地区 (孤立集落・津波浸水)	検討前	・避難目標地点は3箇所。 (浸水区域拡大のため再検討が必要)	・避難限界範囲は300m。 (津波影響開始時間が変わるため再検討が必要)	・避難場所は1箇所指定されており、安全。	・避難所までの経路上に阻害する恐れのある危険箇所はある。	・地区内にヘリポート利用可能なスペースはない。	・当地区の危険箇所対策と戸鎖バイパス工事の完了後、孤立する恐れは解消する。	孤立する
	検討後	・避難目標地点は3箇所。 ・3箇所の目標地点を移動し、浸水区域外にあるため安全である。	・避難限界範囲の設定なし。	・避難場所は隣接する地区のスパハウスろっかぼっかを利用する。(地区全域、車による避難を前提とする)	・隣接する地区のスパハウスろっかぼっかへの避難経路上に阻害する恐れのある危険箇所があり、対策が必要である。	・隣接する地区のスパハウスろっかぼっか駐車場はヘリ離着陸可能である。	・当地区の危険箇所対策と戸鎖バイパス工事の完了後、孤立する恐れは解消する。	孤立する

4.物資の輸送手段の確保

・隣接する地区のスパハウスろっかぼっかはヘリ離着陸可能である。

防災公共推進計画 上北県土整備事務所管内【六ヶ所村】⑱内沼地区（津波・洪水浸水想定区域）検討結果

1.地区の検討図面



【地区の検討結果】

地区名	比較検討	①避難目標地点	②避難限界範囲	③避難場所	④避難経路	⑤物資の輸送手段	⑥孤立解消の方策	⑦孤立の判定
⑱内沼地区 (津波・洪水浸水)	検討前	・避難目標地点の設定なし。	・避難限界範囲の設定なし。	・避難場所の設定なし。	・避難経路の設定なし。			
	検討後	・避難目標地点は1箇所。 ・1箇所の目標地点を追加し浸水区域外にあるため安全である。	・避難限界範囲の設定なし。	・避難場所は隣接する地区の南小学校、南こども園を利用する。	・隣接する地区の南小学校、南こども園への避難経路上に阻害する恐れのある危険箇所はない。			

2.避難場所の確保

2-1.利用可能な避難場所（地区内）		
避難所・避難場所名	避難所種別	
-	-	
2-2.利用可能な避難場所（地区外）		
避難所・避難場所名	地区名	避難所種別
南小学校	隣接地区	指定避難所
南こども園	隣接地区	指定避難所
2-3.利用不可な避難場所		
避難所・避難場所名	利用不可の理由	避難所種別
-	-	-

3.避難経路の確保

・隣接する地区の南小学校、南こども園への避難経路上に阻害する恐れのある危険箇所はない。

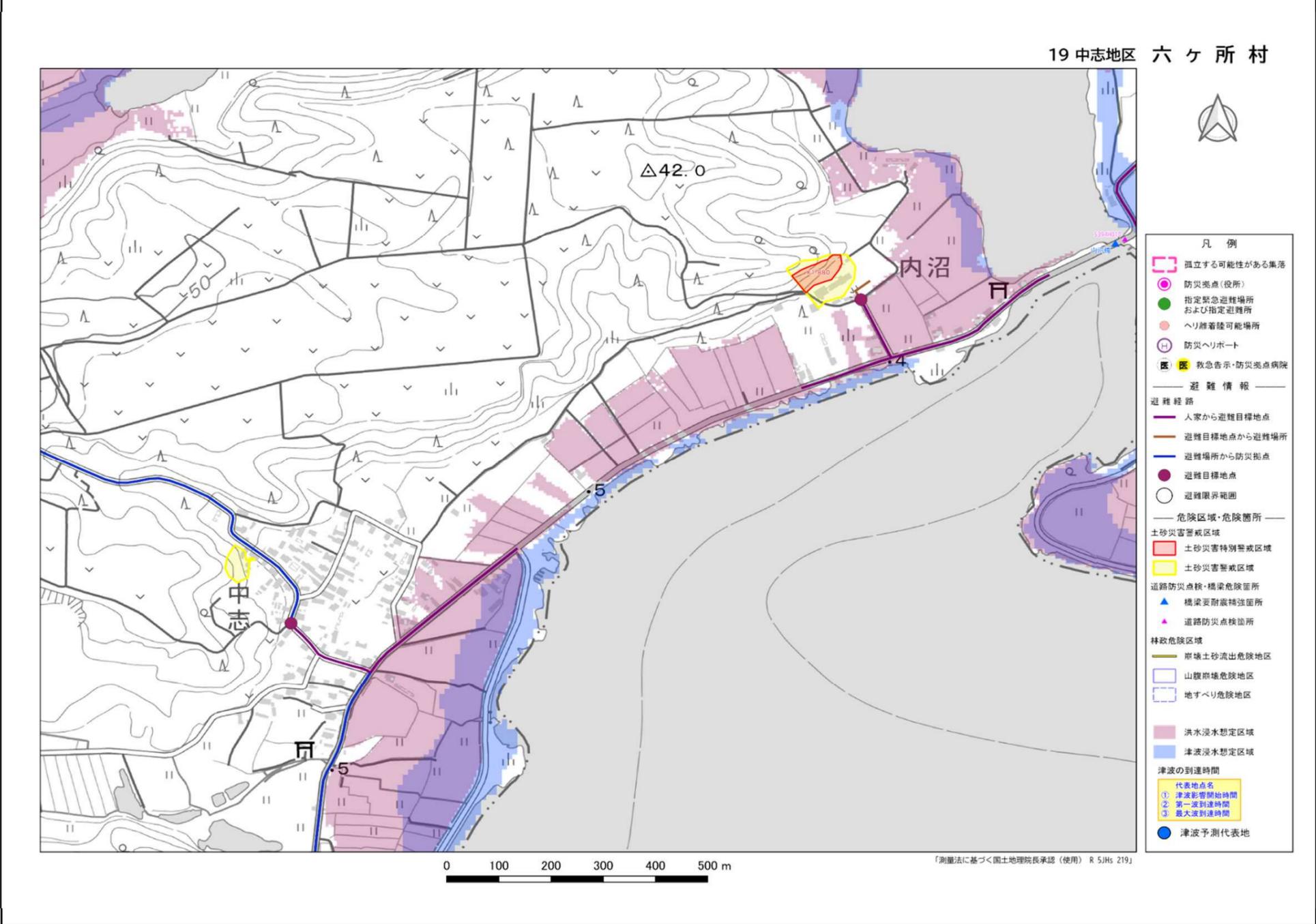
事業種別	箇所番号	実施主体	事業名(事業箇所)	施策実施状況
-	-	-	-	-

4.物資の輸送手段の確保

--

防災公共推進計画 上北県土整備事務所管内【六ヶ所村】 ⑬中志地区（津波・洪水浸水想定区域） 検討結果

1.地区の検討図面



【地区の検討結果】

地区名	比較検討	①避難目標地点	②避難限界範囲	③避難場所	④避難経路	⑤物資の輸送手段	⑥孤立解消の方策	⑦孤立の判定
⑬中志地区 (津波・洪水浸水)	検討前	・避難目標地点の設定なし。	・避難限界範囲の設定なし。	・避難場所の設定なし。	・避難所までの経路上に阻害する恐れのある危険箇所はない。			
	検討後	・避難目標地点は2箇所。 ・2箇所の目標地点を追加し浸水区域外にあるため安全である。	・避難限界範囲の設定なし。	・避難場所は隣接する地区の南小学校、南こども園を利用する。(地区全域、車による避難を前提とする)	・隣接する地区の南小学校、南こども園への避難経路上に阻害する恐れのある危険箇所はない。			

2.避難場所の確保

2-1.利用可能な避難場所（地区内）

避難所・避難場所名	避難所種別
-	-
地区全域、車による避難を前提とする	

2-2.利用可能な避難場所（地区外）

避難所・避難場所名	地区名	避難所種別
南小学校	隣接地区	指定避難所
南こども園	隣接地区	指定避難所

2-3.利用不可な避難場所

避難所・避難場所名	利用不可の理由	避難所種別
-	-	-

3.避難経路の確保

・隣接する地区の南小学校、南こども園への避難経路上に阻害する恐れのある危険箇所はない。

事業種別	箇所番号	実施主体	事業名(事業箇所)	施策実施状況
-	-	-	-	-

4.物資の輸送手段の確保

--